選択制臨床実習
シ ラ バ ス

2027年度
第６学年

藤田医科大学 医学部

「選択制臨床実習」

［基本理念］

現在進行している医学教育の改革において最も強調されている点は、昔ながらの知識を伝えるだけの教育から、医学生自身が体験することを基本にした教育の重要性である。この様な考え方に従い、CM-E（2014 年選択制総合医学、2018 年選択制臨床実習に改名）が 1999 年度より開始された。選択制臨床実習は８週間にわたり、学内、学外及び海外での多様な臨床実習プログラムを学生が自ら選び、これまでに学んできた学習内容を踏まえて、医療分野の実際を体験することによって研鑽を深めるものである。

［教育目標］

６学年の最初の８週間、臨床実習の締めくくりとして、学内、学外（国内／海外）を問わず、運営委員会が許可した多様な医療施設から実習先を自主的に選択し、更に深く実習を行い臨床現場での研鑽を積む。

［学習目標］

クリニカルクラークシップの精神に則り、医療チームの一員として責任感と義務感を持って実習する。

［到達目標］

到達目標は、各実習施設において学生と教育担当者で決定する。

［評価］

出席状況、実習態度、医学知識を総合的に評価する。

［選択コースおよび実習施設］

このような教育目標を実現するため以下の３つの選択コースを設けている。

１．運営委員会の認定した海外の病院、大学、研究所などにおける実習

２．運営委員会の認定した本学以外の国内の病院・研究所などにおける実習

３．本学医学部臨床系講座における実習

〇主な 2026 年度 学外実習施設（実習者数）

１．海外実習（19 名）

National Taiwan University, College of Medicine（Taiwan）
Faculty of Medicine, Khon Kaen University (Thailand)
National University of Singapore (Singapore)
Hanoi Medical University (Vietnam)
Seoul National University College of Medicine (Korea)
Camilo José Cela University (Spain)
University of Bologna (Italy)
Università degli Studi di Milano-Bicocca (Italy)

２．国内実習（66 名）

・一宮市立市民病院
・浦添総合病院
・岡崎市民病院
・沖縄県立中部病院
・桶狭間病院
藤田こころケアセンター

・海南病院
・春日井市民病院
・刈谷豊田総合病院
・関西電力病院
・京都府立医科大学附属病院
・協立総合病院
・桑名市総合医療センター
・公益財団法人
豊田地域医療センター
・公立陶生病院
・江南厚生病院
・公立西知多総合病院
・さいたま市立病院
・市立吹田市民病院
・市立四日市病院
・社会医療法人　大雄会
総合大雄会病院
・大同病院
・知多半島総合医療センター
・中京病院
・中東遠総合医療センター
・中部ろうさい病院
・津山中央病院
・豊川市民病院
・豊田厚生病院
・トヨタ記念病院
・豊橋市民病院
・名古屋医療センター
・名古屋掖済会病院
・名古屋記念病院
・日進おりど病院
・日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院
・名鉄病院
・松波総合病院
・名古屋掖済会病院
・八千代病院

なお、できるだけ学生が自主的に選択でき、多様な選択肢があることが望ましいが、一定のルールに則って公平な選択が行われる必要があるため、最終的な施設選択は運営委員会で決定する。

藤田医科大学医学部学外教育関連施設に関する規程

平成15年規程第１号
施行　平成15年１月15日
改正　平成30年10月10日

（目的）

第１条　この規程は、藤田医科大学（以下、本学という）医学部（以下、本学部という）の学生が本学以外の国内の病院、診療所、保健所又は老人保健施設等の施設でカリキュラムに基づき実習を行うことに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（学外教育関連施設）

第２条　前条の実習を行う施設は、本学部学外教育関連施設（以下、関連施設という）とし、医学部長の推薦に基づき学長が委嘱するものとする。

２．関連施設は、学生の実習に必要な施設及び設備並びに指導者を有する施設とする。

３．関連施設として委嘱する期間は、年度を超えないものとする。ただし、必要に応じて年度毎に更新することができる。

（学外実習担当講師）

第３条　学長は、医学部長の推薦に基づき関連施設において学生の実習指導に携わる者（その者が複数の場合は、当該実習指導の主たる責任者）に対し、本学部学外実習担当講師を委嘱するものとする。ただし、任期は当該年度内とし、更新することができる。

（申請手続）

第４条　医学部長は、当該年度の実習のため関連施設に新規に委嘱しようとする場合は、次の事項を記載した書類を作成して教授会及び学長を経て、理事長の許可を得なければならない。

（１）当該施設の名称及び所在地
（２）当該施設において学生の実習指導に携わる者の氏名及び略歴
（３）当該施設において実習を行おうとする授業科目名及び実習の期間
（４）その他必要な事項

２．関連施設更新の手続きは、前項に準じて行わなければならない。

（変更の届出）

第５条　医学部長は、前条の申請内容に変更が生じた時は速やかに変更の内容を記載した書類を学長を経て理事長に報告しなければならない。

（実習の経費）

第６条　医学部長は、関連施設における実習に要する経費については、当該関連施設と協議し、学長を経て理事長の許可を得なければならない。

（その他の事項）

第７条　本規程に定めるもののほか、関連施設に関する必要な事項は、当該関係者で適宜協議

するものとする。

（規程の改正）
第８条　本規程の改正は、教授会及び学長を経て、理事会の承認を得なければならない。

附則

１．この規程は、平成15年１月15日から施行する。
２．平成30年10月10日一部改正

2027年度 選択制臨床実習　選択コースについて

2027 年度 選択必修科目 選択制臨床実習を以下のとおり実施するので、選択にあたって記載内容を厳守し希望コースを選択すること。

１．海外実習

＜選択制臨床実習授業期間＞

（4 週間） 2027 年 4 月 5 日（月）～ 4 月 30 日（金）

（8 週間） 2027 年 4 月 5 日（月）～ 5 月 28 日（金）

＜実習者の条件＞

以下２条件をクリアしていること。

英語力：TOEFL iBT 50 点以上（Thomas Jefferson University, University of Nebraska Medical Center は 79 点以上、その他各渡航先の基準を満たしていること）※

学業成績：ポリクリ(前期)評価点の順位が上位 90%以上、且つポリクリ中のアンプロ行為がないこと。

※TOEFL iBT 50 点未満 My BestTM スコア 50 点以上の場合は医学部国際交流委員会により判断する。My BestTM スコア 50 点未満で海外実習を是非希望する学生の場合、教務委員会および教授会の承認を得て許可する場合がある。

但し補助金は TOEFL iBT 50 点未満(My BestTM スコア不可)は対象外。

選択制臨床実習海外実習生として認められた後、成績不良のため 3 月の強化授業の参加もしくは、個別指導(面談)対象となった場合は、その強化授業に必ず参加もしくは、個別指導(面談)を受けなければならない。

＜選考手順＞

①エントリー

2026 年 7 月 1 日（水）9 時までに、「TOEFL iBT スコアレポートの印刷物」、「選択制臨床実習海外実習プログラム誓約書」を学務課に提出し、Google フォームより希望渡航先等を入力すること。また、TOEFL iBT スコアレポートについて、別途、My TOEFL Home の画面提示を求めることがある。誓約書の書式と Google フォームの URL については掲示を確認すること。

②英語力審査及び選考

2026 年 7 月 6 日(月)～10 日(金)に、Miori Motomori 先生の英語力審査を必ず受けること(Google フォームの入力内容を踏まえ、学務課が日程を調整し通知する)。英語力審査後、医学部国際交流委員会で合否を決定し、医学部教授会での承認を経て、最終的な選択制臨床実習 海外実習生を決定する。

③選考後

渡航前まで開催される「異文化コミュニケーションコース」の全てのプログラムと「医療英語コース」の指定されたプログラムに参加すること。

【異文化コミュニケーションコース】

第 1 回目　12 月 5 日（土）10:00-12:00

第 2 回目　 1 月 9 日（土）10:00-12:00

第 3 回目　 1 月 30 日（土）10:00-12:00

第 4 回目　 2 月 27 日（土）10:00-12:00

場所：大学 2 号館 12 階 1205 講義室

【医療英語コース】
第１回目(LME①)　10 月 17 日（土）13:20-15:20
第２回目(PACE①)　10 月 22 日（木）13:20-15:20
※第２回目(PACE①)は「National Taiwan University College of Medicine」「National University of Singapore」「University of Nebraska Medical Center」に配属学生のみ参加必須、それ以外は任意参加
場所：大学２号館 12 階 1205 講義室

上記プログラムへの参加は必須であり、やむを得ず欠席する場合は、事前に学務課へ連絡の上、欠席届に準じた書類を提出すること。事前に連絡なく無断欠席した場合は、海外実習の資格を取り消すので注意すること。

＜選考後の手続きなど＞
・渡航者事前ガイダンスに参加すること。日程は後日通知するので確認すること。
・学園指定の海外保険の加入が必要（後日案内予定）。補助金の対象であり、規定の上限金額から海外保険料を差し引いた金額内で補助する。個人で別の海外保険に追加で加入することは任意だが、追加で加入した保険料については補助の対象外となる。

＜実習後に行う事項(必須)＞
評価表の提出
実習先にて取得した評価表を学務課へ提出すること。　提出期限　2027 年 6月18日(金)
御礼メールの送信とコピーの提出
帰国後３日後までに、学務課 med-2@fujita-hu.ac.jp までお礼メールを作成し送信すること。
その後、国際交流推進センターおよび世話人教授でメールの添削を行い返信するので、添削後のメールを渡航先へ送信し、送信したメールを印刷の上、(余白に学籍番号・氏名・実習施設名を記入)学務課に提出すること。
提出期限　前半：2027 年 5 月 14 日(金)、8 週間同施設：2027 年 6 月 11 日(金)

２．国内実習

１）学外実習

＜選択制臨床実習授業期間＞
（分割）　前半 2027 年 4 月　5 日（月）～ 4 月 30 日（金）
　　後半 2027 年 5 月 10 日（月）～ 6 月　4 日（金）
（8 週間）2027 年 4 月　5 日（月）～ 4 月 30 日（金）および 5 月 10 日（月）～ 6 月 4 日（金）
＜実習者の条件＞
ポリクリ(前期)評価点の順位が上位 90%以上、且つポリクリ中のアンプロ行為がないこと。
＜選考手順＞
ポリクリ(前期)評価点の順位の発表は 11 月初旬の予定。各自、対象であるかを確認後、希望を提出すること。
シラバスに記載がない施設を希望する場合は、以下注意点を確認し、各自で交渉し内諾を得ること。
【各自で交渉し内諾を得た学外施設を希望する場合の注意点】
・誰からどのように内諾を得ているのかを必ずコメント欄に明記し、内諾を得たことが分かるもの(メールを印刷したもの)※を 11 月 13 日(金)までに学務課に提出すること。提出がない場合は無効となる。
なお、運営委員会が実習施設として適当か否かは審査する。
適否の目安：〈a〉過去に選択制臨床実習国内学外研修施設としての実績がある施設

〈b〉厚生労働省指定研修教育病院
〈c〉本学教授が推薦できる教育担当者が勤務する施設、など
※次の事項が記載されていること：病院名、所在地、連絡先、内諾の交渉をした担当者、内諾を得た診療科名・期間
・学外施設に内諾を得た場合は、必ず内諾を得た施設で実習を行うこと（学外実習の対象外となった場合を除き、自己都合でお断りしないこと）。

＜選考後の手続きなど＞
国内の実習施設の決定は 2026 年 12 月末もしくは 2027 年 1 月初旬の予定。
実習施設決定後、臨床実習に関する誓約書及び同意書を提出すること。
提出期限は、後日提示するので確認すること。（提出先：医学部事務部学務課）
誓約書及び同意書は学務課で受け取ること。
学外施設への正式な依頼及び契約締結は 2027 年 1 月上旬に大学より行う予定。
実習施設決定後、実習実施に必要な手続きや提出書類等は各自確認し進めること。

＜実習後に行う事項（必須）＞
御礼状の送付（書面で郵送のみ、メール不可、手書き）とコピーの提出
選択制臨床実習の終了後速やかに、お世話になった施設の**実習診療科の担当責任者（事務担当者ではなく医師）宛**に御礼状を書き送付すること。また、御礼状のコピー（余白に学籍番号・氏名・実習施設名を記入）を医学部学務課に提出すること。
提出期限　前半：2027 年 5 月 14 日（金）、後半および 8 週間同施設：2027 年 6 月 18 日（金）
※前半と後半に別施設（県外）で実習し、大学へコピーの提出が難しい場合は、2027 年 6 月 18 日（金）を提出期限とする。但し、その場合でも前半実習施設へのお礼状の送付は、2027 年 5 月 14 日（金）までに完了しておくこと。

2）学内実習
＜選択制臨床実習授業期間＞
（分割）　前半 2027 年 4 月 5 日（月）～ 4 月 30 日（金）
後半 2027 年 5 月 10 日（月）～ 6 月 4 日（金）
＜実習者の条件＞
選択にあたっての条件は無い。
＜選考手順＞
各診療科の週間スケジュールを確認した上で、第 3 希望まで選択し、それぞれ志望理由及び希望する実習内容を 11 月 13 日（金）までに Moodle に入力すること。Moodle の入力フォームについては後日掲示するので確認すること。
同診療科の希望学生数が定員数を上回った場合は、志望理由の内容とポリクリ評価点を元に診療科が学生を決定する。
診療科受け入れが不可であった学生は、受け入れ可能診療科に再度志望理由を提出し、受け入れの診療科が決定するまで同様の手順を繰り返す。
＜選考後の手続きなど＞
国内の実習施設の決定は 2026 年 12 月末から 2027 年 1 月末の予定。
実習施設決定後、臨床実習に関する誓約書及び同意書を提出すること。
提出期限は、後日掲示するので確認すること。（提出先：医学部事務部学務課）
誓約書及び同意書は学務課で受け取ること。
※ばんたね病院での実習において、駐車場・ロッカーの利用は 5 学年の実習生が優先となるため、使用できません。また、定期券の利用を希望する場合は、実習開始 1 か月前までに学務課窓口で手続きを行ってください。

3）共通の注意事項
成績不良のため 3 月の強化授業の参加や個別指導(面談)対象となった場合は、その強化授業に必ず参加もしくは、個別指導(面談)を受けなければならない。
実習先決定後は変更を認めないので、充分考慮し希望を入力すること。

4）提出物について
選択制臨床実習期間中、日誌を作成すること。
日誌は Moodle にあるフォームを利用すること。
日誌の提出は選択制臨床実習での評価を受けるのに必須である。
提出期限　2027 年 6 月 18 日(金)

3．学外実習に係わる補助について【提出期限：2027 年 8 月 13 日（金)】

審査基準を満たした学外実習者に対して、次の上限金額から海外保険料を差し引いた金額内で補助金を支給する。
（海外実習者は提出した実習スケジュールに則って実習が完了したことを条件とする。）
・MOU※1締結施設[アジア地域(シンガポール国立大学を除く)]で実習する学生※3
：30 万円を上限とする。
・MOU※1締結施設[上記以外]で実習する学生※3　：40 万円を上限とする。
・国内のうち学外で実習し経費を要した学生※2･3 ：　5 万円を上限とする。

【海外実習者】
補助金支給の申請には、「海外実習報告会」での報告及び領収書等(原本)の提出が必要となる。往復の旅費(公共交通機関に限る)、実習期間中の宿泊費及び医療過誤・実習先で加入した健康保険費、先方指定の健康診断・予防接種・検査代、VISA 申請手数料等が補助金の対象となる。領収書(原本)を提出できない場合は、補助金が受けられないので必ず保管しておくこと。領収書(原本)には必ず日付・費目内容が記載されていること(旅費の場合には、旅行の日程及び旅行先)。航空機の場合にはチケットの半券(もしくは搭乗証明書)を併せて提出すること。外貨の支払いでは、為替レートが分かるものを提出すること。
※注意事項
補助金については、海外実習プログラム参加に必要な渡航費、宿泊費等を全て賄うことを目的として設定されているわけではありません。社会情勢や物価の変更により、自己負担が増える場合があります。また、寮の利用可否について、予定が急遽変更になる場合があります。

【国内実習者】
東海三県以外に限る。補助金支給の申請には、日誌及び領収書等(原本)の提出が必要となる。領収書(原本)を提出できない場合は、補助金が受けられないので必ず保管しておくこと。領収書(原本)には必ず日付・費目内容が記載されていること(旅費の場合には、旅行の日程及び旅行先)。航空機の場合にはチケットの半券(もしくは搭乗証明書)を併せて提出すること。往復の旅費(公共交通機関に限る)、実習期間中の宿泊費及び医療過誤・実習先で加入した健康保険費等が補助金の対象となる。

＜補助金に関する注意事項＞
・往復の旅費(公共交通機関に限る)は、実習期間の前後 3 日以内の移動が対象となる。
・宿泊先から実習先の交通費は対象外である。
・宿泊費は、実習期間中および実習期間の前後 1 泊に限り対象となる。
（例：5 日から実習の場合、4 日チェックインから対象、

20 日まで実習の場合、21 日チェックアウトまでが対象）

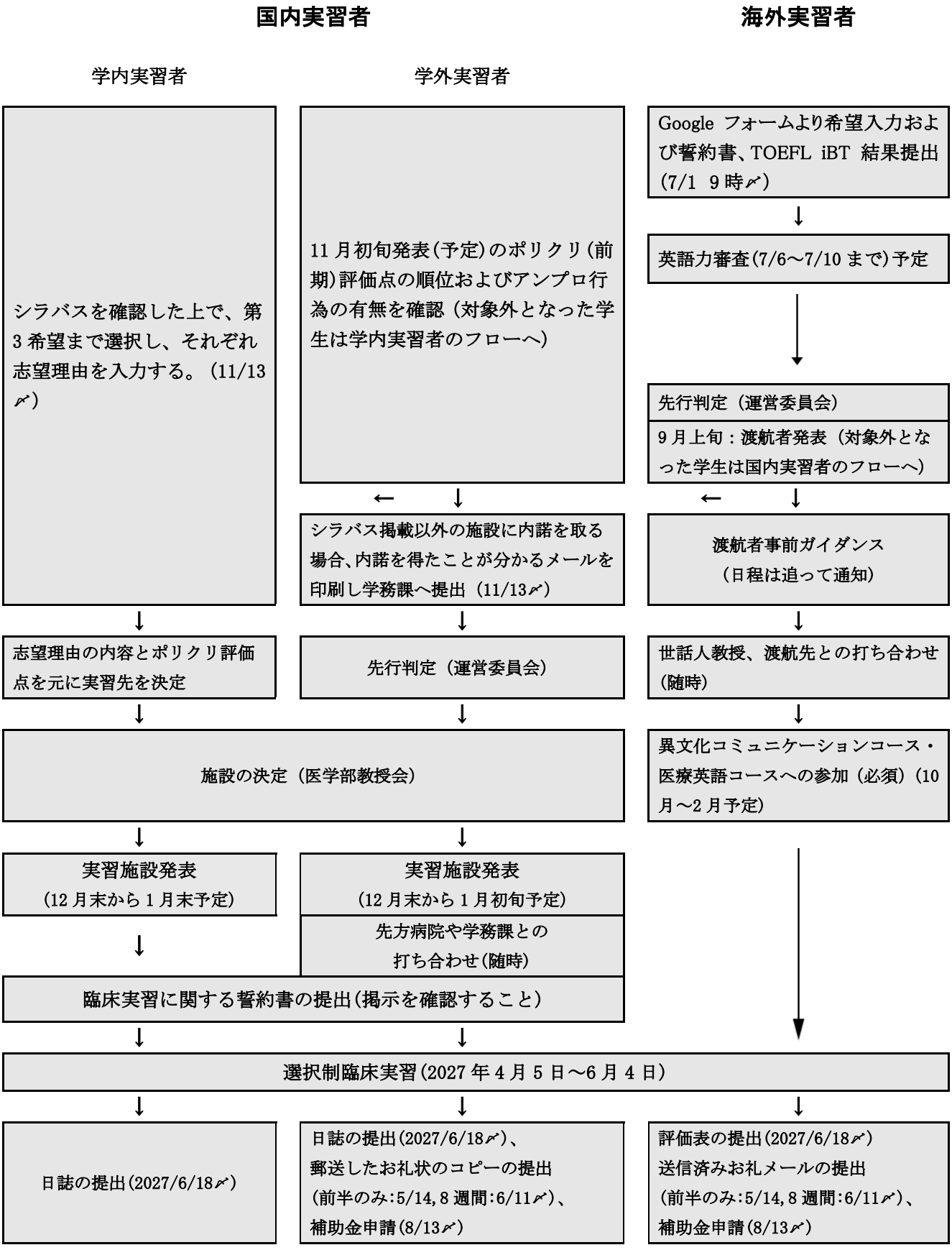
※１　MOU:MEMORANDUM OF UNDERSTANDING の略
選択制臨床実習 学外実習施設一覧内の海外実習施設において、「MOU 締結校」と記載のある施設が対象である。

※２　補助金額の上限は、前半と後半の実習期間を通しての合計金額とする。

※３　海外実習と学外(国内)実習を行った場合の補助金額はそれぞれを上限とする。

※４　海外実習については、TOEFL iBT(My Best™ スコアは対象外) 50 点以上に限る。
選考のための提出期限である 2026 年7月1日(水)に 50 点未満であった場合、2027 年 1 月末までに学務課へ TOEFL iBT(My Best™ スコアは対象外) 50 点以上の結果を再提出した場合、補助対象として認める。

選択制臨床実習の問い合わせ窓口：学務課(0562-93-2426)鎌田、角田、平川まで


国内実習者
海外実習者
学内実習者
学外実習者
シラバスを確認した上で、第3希望まで選択し、それぞれ志望理由を入力する。（11/13〆）
11月初旬発表(予定)のポリクリ(前期)評価点の順位およびアンプロ行為の有無を確認（対象外となった学生は学内実習者のフローへ）
Google フォームより希望入力および誓約書、TOEFL iBT 結果提出（7/1 9時〆）
英語力審査(7/6～7/10まで)予定
先行判定（運営委員会）
9月上旬：渡航者発表（対象外となった学生は国内実習者のフローへ）
シラバス掲載以外の施設に内諾を取る場合、内諾を得たことが分かるメールを印刷し学務課へ提出（11/13〆）
渡航者事前ガイダンス
（日程は追って通知）
志望理由の内容とポリクリ評価点を元に実習先を決定
先行判定（運営委員会）
世話人教授、渡航先との打ち合わせ(随時)
施設の決定（医学部教授会）
異文化コミュニケーションコース・医療英語コースへの参加（必須）(10月～2月予定)
実習施設発表
(12月末から1月末予定)
実習施設発表
(12月末から1月初旬予定)
先方病院や学務課との
打ち合わせ(随時)
臨床実習に関する誓約書の提出(掲示を確認すること)
選択制臨床実習(2027年4月5日～6月4日)
日誌の提出(2027/6/18〆)
日誌の提出(2027/6/18〆)、
郵送したお礼状のコピーの提出
(前半のみ:5/14,8週間:6/11〆)、
補助金申請(8/13〆)
評価表の提出(2027/6/18〆)
送信済みお礼メールの提出
(前半のみ:5/14,8週間:6/11〆)、
補助金申請(8/13〆)

選択制臨床実習の評価表および評価方法について

藤田医科大学医学部 6学年 選択制臨床実習 評価表

学籍番号　51000000　　学生氏名　○○　○○

講座教授＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

出席状況[1]	優	良	可	不可
実習態度[2]	優	良	可	不可
医学知識[3]	優	良	可	不可
総合評価[4]	優	良	可	不可

評価者のコメント

プロフェッショナリズム

1）アンプロフェッショナルな行為があり、注意・指導した　（ 有※ ・ 無 ）
→アンプロフェッショナルな行動については臨床実習シラバス(QRコード)参照

2）注意・指導後の改善があったか　（ 有 ・ 無 ）
→評価に値する十分な期間がない時は無記入

※アンプロ行為についてできるだけ詳しく記述下さい。(記入欄が足りない場合は、別紙記入の上、添付して下さい。) 記載いただいた内容につきましては、アンプロ委員会でアンプロ行為認定の審議をいたします。

註　1）毎日定められた時間にしっかり実習していた者は「優」、規定時間の2／3に満たなかった者は「不可」としてください。なお、全日の出席が必要なため、欠席した場合は欠席日数分の補講が必要となります。
2）実習に取り組む姿勢が、非常に熱心(100%～)な者は「優」、期待以上(80～99%)な者は「良」、標準的(60～79%)な者は「可」、実習の実があがっていないと思われる者(～59%)は「不可」としてください。
3）医学部6学年1学期の学生として特にその知識が優れていると思われる者(100%～)は「優」、期待以上(80～99%)な者は「良」、標準的(60～79%)な者は「可」、医学知識が不足していると思われる者(～59%)は「不可」としてください。
4）総合評価を「不可」とされた場合は、コメント欄にその事由をご記入ください。

○○科
○/○～○/○分

評価表の総合評価を　【優＝90 点・良＝80 点・可＝60 点・不可＝0 点】とし、その平均点を評点とする。前半 4 単位、後半 4 単位の両方の評価が「優」の場合は評点 100 点とする。

※学外実習施設において、1 期間に複数の評価表が提出された場合
国内実習：【総合評価 優＝90 点・良＝80 点・可＝60 点・不可＝0 点】とした上で、平均点を当該期間の評価とする。平均点が小数点以下となった場合は、四捨五入したものを評価とする。
海外実習：全評価表の各項目の評価を合計し、最も数が多いものを当該期間の評価とする。合計数が同じ場合は、良い方の評価とする。

アンプロフェッショナル行為が認定された場合、該当期間の評価点は 0 点となる。

講座別の学内実習内容

講　座　名	循環器内科学
責　任　者	井澤英夫
受入可能人数	前半　後半　各６名
実 習 内 容	①救命救急センター(CCU)で医療チームの一員として医師と共に行動する。 ・教科書で学んできたことを、実際の症例を通じて知識の再整理と生きた知識の獲得を図る。 ・医師と共に行動することで、医学的な知識のみならず医師としての道徳観を身につける。 ・救急医療の体験から生命の尊さを学ぶ。 ②循環器内科領域における各専門分野の検査・治療に参加する。 心臓カテーテル検査、心臓核医学検査、血液生化学検査・神経体液性因子、心臓超音波、心臓病理、電気生理学的検査(カテーテルアブレーション)、体内式ペースメーカー植え込み術ならびにICD植え込み術 など。 ③午後はふり返り自己学習の時間とし、午前中に実習で学んだことの復習を自己学習する。 ＊希望者は適宜循環器内科関連病院(名古屋記念病院、碧南市民病院など)での学外実習を援助・斡旋をうける。派遣されている医局員の指導下で実習を行う。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	CCU 実習	CCU	奥村貴裕または CCU 医師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
火	9：00～12：00	構造的心疾患カテーテル治療実習	ハイブリッド手術室	星野芽以子またはエコー班
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
水	9：00～12：00	ｶﾃｰﾃﾙｱﾌﾞﾚｰｼｮﾝ・ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ実習	ハイブリッド手術室	原田将英または不整脈班
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
木	9：00～12：00	冠動脈カテーテル治療実習	ハイブリッド手術室	村松崇またはカテーテル班
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
金	9：00～12：00	教授回診、病棟カンファレンス	CCU	井澤英夫
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		

講　座　名	呼吸器内科学
責　任　者	橋本直純
受入可能人数	５名
実 習 内 容	【実習の目的と姿勢】 本プログラムは、OSCE 等で証明された技能を基盤に、適切な指導・監視および患者の同意の下、**基本的医行為を主体的に実践する「診療参加型実習」**である。疾患の検討や治療方針（投薬含む）の策定に積極的に参画して、患者の苦悩に共感しうる高い倫理観を態度の習得を目的とする。 【実習内容】。 1. **診療チームへの参画**：スチューデントドクター（SD）としてチームに加わり、責任を持って診療に携わる。 2. **基本的診療の実践**：新規入院患者への医療面接、身体診察を自ら行い、診療録（カルテ案）の記載を行う。 3. **診療計画の立案**：受持患者の病態を検討し、配属されたチームの医師とともに議論する。 4. **外来実習**：指導医の外来において、予診や診察技術を習得する。 5. **専門的検査・手技の経験**：各種専門検査や処置において、指導医の指導・監視下で介助や手技の一部を体験する。 6. **学術的発信**：適切な経験症例については、地方会等での学会発表を目指す。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	チームによる病棟回診	10S 病棟	堀口講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	10S 病棟	磯谷教授
火	9：00～12：00	症例検討会への参加	呼吸器内科医局	橋本教授
	13：00～17：00	気管支鏡検査実習	放射線透視室	岡地講師
水	9：00～12：00	新規入院検討会への参加	呼吸器内科医局	長谷講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	呼吸器内科医局	近藤教授
木	9：00～12：00	チームによる病棟回診	10S 病棟	後藤准教授
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	放射線透視室	堀口講師
金	9：00～12：00	外来での肺癌診療	外来	大矢講師
	13：00～17：00	１週間実習レポート作成	呼吸器内科医局	橋本教授

講　座　名	消化器内科学
責　任　者	大野栄三郎
受入可能人数	前半　後半　各６名
実習内容	１．病棟 受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。病棟回診につく。 病棟カンファランスに参加する。 ２．内視鏡、X線検査室 超音波内視鏡、ERCP、PTCD、TACE、RFA に立ち会い、 その適応と所見のとらえ方を学ぶ。 ３．超音波検査室 腹部超音波検査に立ち会い、自身でも経験する。 肝胆膵の画像検査に立ち会い、治療適応と所見を学ぶ。 ４．CT、MRI の読み方の指導を行い国試に役立てる。 ５．なるべく多くの患者さんに接し、その疾患について学ぶ。消化器疾患患者さんの扱い、検査の意味と適応について学ぶ。抄読会、研究会にも出席し消化器疾患の最先端の知識にも触れる。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	国試振り返り開設（肝胆膵）①	医局	中岡
	13：00～17：00	検査見学・午前の問題復習	内視鏡・放射線棟 5 階	
火	9：00～12：00	宮原教授回診	内視鏡	宮原
	13：00～17：00	検査見学・TACE 実習	放射線棟 3 階	
水	9：00～12：00	国試振り返り開設（上下部消化管）	内視鏡	堀口
	13：00～17：00	検査見学・午前の問題復習	内視鏡	
木	9：00～12：00	国試振り返り開設（肝胆膵）②	医局	田中
	13：00～17：00	検査見学・RFA 見学	内視鏡・放射線棟 5 階	
金	9：00～12：00	EUS 見学	内視鏡	中岡・田中
	13：00～17：00	ERCP 見学・午前の問題復習	放射線棟 5 階	

講　座　名	内分泌・代謝・糖尿病内科学
責　任　者	鈴木敦詞
受入可能人数	前半　後半　各４名
実 習 内 容	内分泌・代謝・糖尿病内科は、臨床ではコメディカルと医療チームを組んで生活習慣病に取り組んでいます。また研究では糖尿病、甲状腺疾患、動脈硬化、骨代謝、肥満に遺伝子工学、細胞工学、免疫学の手法を用いて取り組んでいます。次の２点を中心に学びます。 1)上級医の指導を受けながら、クリニカルクラークシップとしてチーム医療に加わる。内分泌代謝疾患の外来診療も経験する。 2)最新の内分泌代謝疾患の研究にも接してみる。研究会に参加して最近の知識を得る。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9:00~12:00	クリニカルクラークシップ･病棟回診	B-7E 病棟	高柳准教授	３グループあるチームのいずれかに配置
	13:00~14:00	病棟回診・副科回診	B-7E 病棟	各チームリーダー	
	14:00~16:00	甲状腺エコー（予約）・回診	超音波室	エコー当番	甲状腺エコーは予約状況により増減
	16:00~17:00	ふり返り自己学習			
火	9:00~12:00	クリニカルクラークシップ･病棟回診	B-7E 病棟	病棟マネージャー	
	13:00~14:00	病棟回診・副科回診	B-7E 病棟	各チームリーダー	
	14:00~16:00	甲状腺エコー（予約）・回診	超音波室	エコー当番	甲状腺エコーは予約状況により増減
	16:00~17:00	ふり返り自己学習			
水	9:00~12:00	管理者回診・病棟回診	B-7E 病棟	清野准教授	
	13:00~14:00	病棟回診・副科回診	B-7E 病棟	各チームリーダー	
	14:00~16:00	甲状腺エコー（予約）・回診	超音波室	エコー当番	甲状腺エコーは予約状況により増減
	16:00~17:00	ふり返り自己学習			
木	9:00~12:00	クリニカルクラークシップ･病棟回診	B-7E 病棟	病棟マネージャー	
	13:00~14:00	病棟回診・副科回診	B-7E 病棟	各チームリーダー	
	14:00~16:00	甲状腺エコー（予約）・回診	超音波室	エコー当番	甲状腺エコーは予約状況により増減
	16:00~17:00	病棟カンファレンス	B-7E 病棟		
金	9:00~12:00	クリニカルクラークシップ･病棟回診	B-7E 病棟	病棟マネージャー	
	13:00~14:00	病棟回診・副科回診	B-7E 病棟	各チームリーダー	
	14:00~16:00	甲状腺エコー（予約）・回診	超音波室	エコー当番	甲状腺エコーは予約状況により増減
	16:00~17:00	ふり返り自己学習			

講　座　名	血液内科学/造血細胞移植・細胞療法学
責　任　者	冨田章裕
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	(１)代表的な血液疾患の患者(数名)を主治医として担当し、期間中毎日、問診、診察、カルテ記載、上級医との discussion を行う。また担当患者における骨髄穿刺等の手技に関しても、積極的に関わることができる。 (２)受け持ち患者の骨髄検体等を用いて、検鏡から診断までの過程を経験する。代表的な疾患については、診断を行うことができるまでのスキルを身につける。 (３)化学療法(抗がん剤治療)、分子標的療法、免疫療法、細胞療法などの実際を経験し、その治療効果と合併症について理解する。 (４)血液疾患の最先端の臨床および基礎研究について、指導医よりレクチャーを受ける。 (５)その他希望があれば可能な範囲で柔軟に対応する予定であるので、遠慮無く申し出ること。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9:00~12:00	オリエンテーション、患者割り振り（第一週） 患者回診（第 2 週以降）	スタッフ館１　９階　血液内科医局（第一週） B7W 病棟（第 2 週以降）	入山准教授（第一週） 担当医（第 2 週以降）
	13:00~17:00	関連事項学習、手技見学、末梢血骨髄像検鏡	B7W 病棟および医局	担当教員
火	9:30-12:00	教授回診	B7W 病棟	冨田教授
	13:00-15:00	関連事項学習、手技見学、末梢血骨髄像検鏡	B7W 病棟および医局	担当教員
	15:00-17:00	全体カンファレンス	B7W 病棟	全教員
水	9:00~12:00	患者回診	B7W 病棟	担当医
	13:00~17:00	関連事項学習、手技見学、末梢血骨髄像検鏡	B7W 病棟および医局	担当医
木	9:00~12:00	患者回診および外来見学	外来および B7W 病棟	担当教員
	13:00~17:00	関連事項学習、手技見学、末梢血骨髄像検鏡	B7W 病棟および医局	担当教員
金	9:00~12:00	患者回診	B7W 病棟	担当教員
	13:00~17:00	関連事項学習、手技見学、末梢血骨髄像検鏡	B7W 病棟および医局	担当教員

講　座　名	リウマチ・膠原病内科学
責　任　者	安岡秀剛
受入可能人数	前半　後半　各１名
実習内容	病棟での臨床実習あるいは研究室での実習が選択可能です。もちろん、両方を選択することも可能です。 臨床実習では、内科一般および専門科としてのリウマチ性疾患患者の診断・集約的治療について病棟のチームの一員として実習します。まず、専門科としての診療を行う前に、クリニカル・クラークシップで学んだ診断学、身体所見の取り方、検査所見の見方を実際の臨床の場で確認し、診療の技術の習得から始めていきます。また医師としての心構えなど将来良き医師となる礎となるものをお教えしたいと思います。当教室は東海地区において、他大学・病院に先駆けてリウマチ・膠原病診療を専門科として標榜し活動してきた実績から、現在も毎日数名～10 数名の患者さんが新規に紹介されてくる、当地域におけるリウマチ・膠原病診療の拠点病院です。外来診療では、参加することによりかかる疾患の初診患者さんの対応について学ぶことが可能です。 また研究においては、難治性疾患である膠原病の研究に教室全体で取り組んでいます。当科の研究領域は”from bed to bench”が近接しており、研究実習に参加することにより、臨床と研究のつながりを感じることができると思います。研究にも興味のある学生さん、さらに将来海外留学への意欲のある学生さんは是非研究室での実習も経験するとよいと思います。将来の進路を考える上でよい転機になるかもしれません。 膠原病は種々の臓器に病変が起こり得る全身性疾患ですので内科全般にわたるオールラウンドな知識と医療の提供が必要となる領域です。当科を研修することにより、将来家庭医や一般内科医を目指す人にとっても、リウマチ専門医を目指す人にとっても、必ず実りある実習となるものと確信しております。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	10:00-12:00	病棟長回診	B-7E 病棟	赤松このみ
	13:00-15:00	ふり返り自己学習		
	15:00-16:00	クルズス	Web	橋本貴子
	16:00-17:00	ふり返り自己学習		
火	9:00-12:00	外来実習	内科外来	橋本貴子
	13:00-17:00	ふり返り自己学習		
水	9:00-12:00	カンファレンス	Web	橋本貴子
	13:00-17:00	ふり返り自己学習/回診		
木	9:00-12:00	教授回診	B-7E 病棟	安岡秀剛
	13:00-17:00	ふり返り自己学習/回診		
金	9:00-10:00	クルズス	B-7E 病棟	伊藤佑充
	10:00-11:00	クルズス	B-7E 病棟	中田知愛
	11:00-12:00	ふり返り自己学習		
	13:00-15:30	ふり返り自己学習		
	15:30-16:30	クルズス	スタッフ館Ⅱ　8F 会議室	安岡秀剛
	16:30-17:00	ふり返り自己学習		

講　座　名	腎臓内科学
責　任　者	坪井直毅
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	腎臓内科では積極的に実習に参加する意欲のある学生を受け入れします。 １）診療チームに参加しての臨床実習 腎臓内科にある５つの診療チームのいずれかに参加し、チームの一員として受け持ち患者を持って臨床実習を行う。毎朝の回診は各学生が行い、回診後は各診療チームのショート・カンファランスにおいて、回診結果を報告する。受け持ち患者の腎生検やシャント作成手術にも加わる。週１回の新入院患者カンファランスでは受け持ち患者の症例提示を行い、検査計画・治療方針の概要を説明する。週１回の教授回診並びに症例検討会では、学生は各自が担当した患者のプロブレムリストを紹介する。 **※実習に参加する意欲のない学生は受け入れません。** ２）国試腎疾患関連の過去問勉強会

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9：00～10：30	解説	腎臓内科医局	林　宏樹	
	10：30～12：00	振り返り学習			
	13：00～17：00	病棟・血液浄化センター回診	C2 病棟	各主治医ﾁｰﾑ	
火	07：30～11：00	症例カンファレンス	C3 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ	林　宏樹	
	09：00～12：00	腎生検※	C2 病棟	各主治医ﾁｰﾑ	※該当症例あれば、1 時間程度
	11：00～12：00	教授回診	C2 病棟	坪井直毅	
	13：00～14：30	病理カンファレンス	腎臓内科医局	坪井直毅／林宏樹	
	14：30～16：00	解説	坪井教授室	坪井直毅	
	13：00～16：00	シャント作成※	オペ室	小出滋久	※該当症例あった場合のみ
	16：00～17：00	解説	C3 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ	梅田良祐	
水	9：00～10：30	解説	腎臓内科医局	梅田良祐	
	10：30～12：00	解説	腎臓内科医局	林　宏樹	
	13：00～15：00	病棟・血液浄化センター回診	C2 病棟	各主治医ﾁｰﾑ	
	15：00～17：00	振り返り学習			
木	9：00～10：30	解説	C3 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ	小出滋久	
	10：30～12：00	病棟回診	C2 病棟	各主治医ﾁｰﾑ	
	13：00～17：00	振り返り学習			
金	9：00～10：00	解説	C3 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ	林宏樹／佐藤由香	
	10：00～11：00	解説	C3 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ	湊口　俊	
	11：00～12：00	解説	C3 ｶﾝﾌｧﾚﾝｽﾙｰﾑ	佐藤由香	
	13：00～17：00	病棟回診	C2 病棟	各主治医ﾁｰﾑ	

講　座　名	脳神経内科学
責　任　者	渡辺宏久
受入可能人数	前半　後半　各３名
実 習 内 容	次の２点を中心に脳神経内科疾患を学びます。 1.病棟の医療チームに参加し、実際の症例を経験する。 脳神経内科病棟及び SCU 入院患者について指導医とともに回診に参加し、神経診察、検査（CT,MRI の読影)、診断までのプロセス（各種ガイドラインなど参考に)、治療の実際について学ぶ。髄液検査、筋電図、脳波などを見学する。 担当患者を１名以上は受け持ち、週１回のカンファランスでプレゼンテーションを行う。1 例以上、症例要約（サマリー）をまとめ、指導医に提出する（カルテ内で確認)。 2.脳神経内科疾患について復習し、知識を整理する。 教科書、医学雑誌などの輪読会を行い、自ら知識の整理を図る。 実習期間中、過去の国家試験を解き、不明点を実習中に指導医、上級医へ質問することとする（質問日はオリエンテーション当日に決める)。 クルズスに参加する。 ＊積極的に参加いただける学生さんを歓迎します。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9：00～12：00	チーム回診	A-8S 病棟	島/長尾	初日のオリエンテーションは島が担当します。
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	A-8S 病棟	島	
火	9：00～12：00	チーム回診	A-8S 病棟	島/加藤	初日のオリエンテーションは島が担当します。
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	A-8S 病棟	島	
水	9：00～12：00	チーム回診	A-8S 病棟	前田/長尾	
	13：00～17：00	カンファランス参加	A-8 病棟カンファランス室	島	チーム毎
木	9：00～12：00	チーム回診	A-8S 病棟	野田/廣田	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	A-8S 病棟	島	
金	9：00～12：00	チーム回診	A-8S 病棟	前田/廣田	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	A-8S 病棟	島	4 週間のうち、2 週間に 1 回、国家試験の過去問題をあらかじめ解き、質問を受ける。

講　座　名	救急医学・総合内科学
責　任　者	岩田充永　(正) 寺澤晃彦　(副：コーディネーター) 神宮司成弘(副：医局長・救命 ICU 部門チーフ)
受入可能人数	前半　後半　各４名
実習内容	**実習目標** 総合内科病棟での診療に参加し、内科系で遭遇する頻度の高い疾患(コモンディジーズ)の管理を中心に、病棟診療医(ホスピタリスト)がおこなう実践的医療のエッセンスを学びます。実習は、入院診療、クルズス・カンファレンス等の教育イベントを中心として、実習中は診療チームの一員として診察・検査・治療に積極的に携わることを目標とします。 **入院診療** 入院担当医チーム(全２～３チーム)の 1 つに所属し、初期研修医とともに担当指導医の指導下に検査・治療方針の選択と実践を経験します。問題対応能力(臨床推論・鑑別診断、標準的治療の実践)、EBM の実践(おもにエビデンスの収集と利用)、患者医師関係、チーム医療について学びます。カンファレンスでは指導医の指導下に担当症例の提示を行います。 **クルズス** ● ER における内科診療 ● 集中治療における内科診療 ● 内科診療における気道・呼吸管理 ● 内科診療における臨床疫学 **カンファレンス** ランチョンセミナー(週決めで企画される下記内容を学びます) ● 重要症候・病態(第１・５週) ● 臨床ガイドライン(第２週) ● 臨床疫学(第3週) ● 学生発表(第4週) 新入院カンファレンス(症例提示のエッセンスを学びます) 困難症例カンファレンス(問題対応能力のエッセンスを学びます)

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	オリエンテーション、実習成果確認	医局	岩田教授
	13：00～17：00	実習（ER、救命 ICU、総合内科病棟）	各部門	各部門担当教授
火	9：00～12：00	実習（ER、救命 ICU、総合内科病棟）	各部門	各部門担当教授
	13：00～17：00	実習（ER、救命 ICU、総合内科病棟）	各部門	各部門担当教授
水	9：00～12：00	実習（ER、救命 ICU、総合内科病棟）	各部門	各部門担当教授
	13：00～17：00	ふりかえり自己学習		
木	9：00～12：00	実習（ER、救命 ICU、総合内科病棟）	各部門	各部門担当教授
	13：00～17：00	実習（ER、救命 ICU、総合内科病棟）	各部門	各部門担当教授
金	9：00～12：00	実習（ER、救命 ICU、総合内科病棟）	各部門	各部門担当教授
	13：00～17：00	ふりかえり自己学習		

講　座　名	認知症・加齢脳科学科
責　任　者	小林良太
受入可能人数	前半　後半　各２名
実習内容	1.　外来 ① 外来診療の見学を行い、流れを理解する。 ② 適宜、指導者の監督のもと、初診の問診、診察を行う。 ③ 鑑別診断を考えた後、検査計画を立てる。 ④ MRI、認知機能検査などの結果を解釈し、診断を行う。 ⑤ 認知症についての薬物療法を学び、治療計画を立てる。 ⑥ 本人・家族指導を経験する。 ⑦ 地域の社会資源の使い方を習得する。 2.　認知機能検査 ① 認知症の鑑別診断に必要な認知機能検査について学ぶ。 ② 認知機能検査を実施できるよう経験する。 ③ 精神症状の評価についても習得する。 3.　画像検査の解釈 ① 認知機能検査の鑑別に必要な画像検査について学ぶ。 ② 上記画像検査について、多数例を見て判断できるようにする。 4.　認知症ケアチームについて ① 院内多職種チームである認知症ケアチームについて学ぶ。 ② 認知症ケアチームのカンファレンス・回診に参加する。 ③ 身体疾患の治療と認知症治療・ケアについて習得する。 5.　文献抄読 ① 認知症の医療について重要な論文、最新の論文について 読み方、診療への応用などを学ぶ。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	外来実習（認知機能検査など含む）	外来	奥村講師
	13：00～17：00	認知症ケアチーム実習	外来	小林教授
火	9：00～12：00	外来実習（認知機能検査など含む）	外来	小林教授
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
水	9：00～12：00	外来実習（認知機能検査など含む）	外来	芳野准教授・奥村講師隔週
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
木	9：00～12：00	外来実習（認知機能検査など含む）	外来	芳野准教授
	13：00～17：00	認知症ケアチーム実習	外来	芳野准教授
金	9：00～12：00	外来実習（認知機能検査など含む）	外来	奥村講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		

講　座　名	臨床腫瘍科
責　任　者	河田健司
受入可能人数	前半　後半　各３名
実 習 内 容	臨床腫瘍科では臓器横断的な数多くのがん腫の診療の実践や、組織横断的な多職種によるチーム診療の実践を通して、本格的な臨床腫瘍学の教育を受けていただくことができます。 １．外来 指導医の外来に同席し、治療の説明、薬物療法の実施、副作用の確認等の診療に参加する。 ２．病棟 受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。 ３．キャンサーボード 各診療科、多職種と行っているキャンサーボードに参加し、多職種による患者さん中心のチーム診療の実践を学ぶ。 臨床腫瘍科実習の期間中に、がん薬物療法の適切な実践を学んでいただきます。適切な実践とはそれぞれの臓器がんの特性とエビデンスに基づき、臓器障害や合併症に適切に対処し、最善の薬物療法を行うことです。それはどの臓器がんにも当てはまる見方・考え方であり、いろいろな臓器がんの断片的な知識や経験の寄せ集めとは異なるものです。この臓器横断的な視点を一つの学問として体系化したものが、これからの医療にとって必要とされる「がん薬物療法学」です。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	外来実習	A 棟 2F 外来薬物療法センター	河田教授
	13：00～17：00	外来実習	A 棟 2F 外来薬物療法センター	河田教授
火	9：00～12：00	外来実習	A 棟 2F 外来薬物療法センター	河田教授
	13：00～17：00	薬剤師外来実習		
水	9：00～12：00	外来実習	A 棟 2F 外来薬物療法センター	森田講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
木	9：00～12：00	外来実習	A 棟 2F 外来薬物療法センター	河田教授
	13：00～17：00	がん相談実習		
金	9：00～12：00	栄養指導実習		
	13：00～17：00	外来実習	A 棟 2F 外来薬物療法センター	河田教授

講　座　名	感染症科
責　任　者	土井洋平
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	感染症科では藤田医科大学病院内の様々な診療科と協力をして多種多様な感染症疾患の診療を行っています。臨床上重要な疾患を中心に臓器横断的な感染症疾患の診断、抗菌薬治療について学ぶことができます。 また、感染症の診断・治療においては系統的な病歴聴取と身体診察が必要となります。質の高い臨床を行うために必須であるこれらの技法についても症例を通じて学ぶことができます。 1. 感染症科の診療チームに参加し、実際の症例を経験する。 感染症科に新規で紹介となる症例や感染症科が担当している患者さんを上級医とともに問診、診察を行い、鑑別診断と診療計画を検討する作業を通して実践的な感染症診療を学ぶ。実習期間中に少なくとも１症例を担当し、受け持った症例については、毎日上級医にプレゼンテーションしたのち共に回診する。 2. 感染制御チーム(ICT)によるミーティングや病棟回診に参加する。 担当患者を感染症から守るために必要な手指衛生、標準予防策、感染経路別予防策など感染制御学について学ぶ。 3. 実習の評価はプレゼンテーションや回診、カルテ記載、感染防止対策技術など、日々の実践内容に基づき行う。 **※感染症科で設定した実習時間中は基本的にふりかえり自己学習時間を設けません。** **積極的に実習に参加する意欲のある学生を歓迎します。**

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・大藪・川本
	13：00～17：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・大藪・川本
火	9：00～12：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・本田・大藪・花井・川本
	13：00～17：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・本田・大藪・花井・川本
水	9：00～12：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・本田・大藪・花井
	13：00～17：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・本田・大藪・花井
木	9：00～12：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・本田・大藪・花井・川本
	13：00～17：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・本田・大藪・花井・川本
金	9：00～12：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・本田・花井・川本
	13：00～17：00	感染症科コンサルテーション実習	スタッフ館Ⅰ　4階	土井・本田・花井・川本

講　座　名	内科学(第二教育病院)
責　任　者	稲熊大城
受入可能人数	５名(循環器・呼吸器・神経・内分泌代謝糖尿病・腎臓の各分野　前半　後半　各１名まで)
実習内容	主治医チームの一員として入院患者の診療を中心に従事する。 病歴聴取、身体診察、検査所見の見方ならびに治療方針の決定、 治療効果判定ならびに退院までの流れを学ぶ。 患者に対する接し方、上級医、指導医ならびにコメディカルスタッフとのコミュニケーションス能力を向上させる。 症例カンファレンスでのプレゼンテーションならびに他診療科へのコンサルテーションの仕方を学ぶ。 各診療科からのクルズス。 論文の読み方ならびに抄読会での発表。 研究会ならびに講演会への参加。 各診療科の専門的な知識の習得に努める。 循環器： 12 誘導心電図、モニター心電図、胸部単純 X 線、運動負荷検査、ホルター心電図、心臓エコー、冠動脈造影検査、冠動脈３D-CT、カテーテルアブレーションなどの見学と理解。心不全と虚血性心疾患の診断と治療の習得に努める。 呼吸器： 胸部単純 X 線ならびに CT 写真の読影。気管支鏡検査、CT 下肺生検、胸腔鏡検査､胸腔ドレーン挿入ならびに気管挿管などの見学と理解。肺機能検査、気道抵抗検査、FeNO などの測定方法と検査値の理解。 神経： 神経診察の実践と神経所見の理解。頭部 CT､MRI や脊髄 MRI の読影。筋電図ならびに脳波の見学、実施と所見の理解。 内分泌代謝糖尿病： 各種内分泌学的検査負荷試験の理解。糖尿病教育入院の理解および周術期血糖管理の実施と理解。 腎臓： 透析をふくむ慢性腎臓病の病態ならびに治療の理解。腎生検ならびに血液浄化療法の見学と理解。

週間スケジュール

循環器

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	カテーテルアブレーション	B1 地下放射線科	祖父江先生准教
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
火	9：00～12：00	冠動脈検査	B1 地下放射線科	良永講師
	13：00～15：00	ふり返り自己学習		
	15：00～17：00	カンファレンス・病棟回診		
水	9：00～12：00	心電図、ホルター心電図、心臓エコー記録と判読	生理検査室	荒木助教
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
木	9：00～12：00	カテーテルアブレーション	B1 地下放射線科	祖父江先生准教
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
金	9：00～12：00	ふり返り自己学習	医局	
	13：00～17：00	冠動脈検査	B1 地下放射線科	良永講師

呼吸器

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9：00～12：00	ふり返り自己学習（朝医局に集合後）	医局		第 1 週午前説明
	13：00～17：00	回診、処置や検査見学（処置・気管支鏡等）	7 階病棟 or 内視鏡室	担当医	担当廣瀬教授
火	9：00～12：00	ふり返り自己学習（朝医局に集合後）	医局		
	13：00～17：00	回診、処置や検査見学（処置・気管支鏡等）	7 階病棟 or 内視鏡室	担当医	
水	9：00～12：00	外来見学	内科外来	廣瀬教授	
	13：00～17：00	回診、処置や検査見学（処置・気管支鏡等）	7 階病棟 or 内視鏡室	担当医	
	17：00～18：00	カンファレンス	7 階病棟	廣瀬教授	
木	9：00～12：00	ふり返り自己学習（朝医局に集合後）	医局		
	13：00～17：00	回診、処置や検査見学（処置・気管支鏡等）	7 階病棟 or 内視鏡室	担当医	
金	9：00～12：00	ふり返り自己学習（朝医局に集合後）	医局		
	13：00～17：00	回診、処置や検査見学（処置・気管支鏡等）	7 階病棟 or 内視鏡室	担当医	

神経

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9：00～12：00	病棟回診	7 階病棟	千田講師	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習			
火	9：00～12：00	病棟回診	7 階病棟	伊藤教授	
	13：00～17：00	生理検査	生理検査室	菊池助教	検査のある時のみ
水	9：00～12：00	病棟回診	7 階病棟	菊池助教	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習			
木	9：00～12：00	病棟回診	7 階病棟	千田講師	
	13：00～17：00	カンファレンス、勉強会	第 1 会議室	伊藤教授	
金	9：00～12：00	病棟回診	7 階病棟	伊藤教授	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習			

内分泌代謝糖尿病

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	病棟	9F 病棟	椙村教授
	13：00～17：00	病棟/症例カンファレンス/振り返り自己学習	9F 病棟	当日担当医
火	9：00～12：00	病棟	9F 病棟	当日担当医
	13：00～17：00	教授回診/振り返り自己学習	9F 病棟	当日担当医
水	9：00～12：00	病棟	9F 病棟	当日担当医
	13：00～17：00	病棟/振り返り自己学習	9F 病棟	当日担当医
木	9：00～12：00	病棟	9F 病棟	当日担当医
	13：00～17：00	病棟/振り返り自己学習	9F 病棟	当日担当医
金	9：00～12：00	病棟	9F 病棟	当日担当医
	13：00～17：00	病棟/振り返り自己学習	9F 病棟	当日担当医

腎臓

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	腎臓内科外来実習	内科外来 6 番診察室	稲熊教授
	13：00～17：00	腎臓内科病棟実習	9 階病棟	立杢助教
火	9：00～12：00	チーム回診	9 階病棟	全員
	13：00～14：30	腎生検カンファレンス	教授室	全員
	15：00～17：00	多職種カンファレンス	血液浄化センター	全員
水	9：00～12：00	腎臓内科病棟実習	9 階病棟	加藤助教
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
木	9：00～12：00	透析室実習	血液浄化センター	加藤助教
	13：00～17：00	腎生検・シャント手術見学	内科医局	立杢助教
金	9：00～12：00	腎臓内科病棟実習	9 階病棟	稲熊教授
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		

講　座　名	消化器内科学(第二教育病院)
責　任　者	橋本千樹
受入可能人数	前半　後半　各３名
実習内容	１)消化器疾患の基礎知識を復習すると同時に画像診断の読影をマスターする。 ・教授、准教授が消化器疾患のなかで覚えておくべき重要ポイントを解説する。同時に画像を見ながら覚えておくべき重要な所見を解説する。画像診断をマスターするには、まず、正常な画像を見て、どこに注目して読影するかを知る必要がある。その上で、さまざまな疾患の典型像を見て、画像からわかる病態を解釈することが重要である。一度見れば必ず記憶に残る画像を数多く見ることは国家試験対策にも不可欠である。 ２)実際の診療に参加することで、臨床に関する知識を確実なものにする。 ・指導医がマンツーマンで指導する。指導医と行動を一緒にすることで、病棟の患者さんを一緒に担当したり、週に１回程度の救急患者を診察したりする。また、腹部超音波検査や消化管内視鏡検査は実際に体験することでさらに身近なものにできる。臓器別のカンファランスに参加することで、知識の幅を広げるようにする。 【その他】 わからないことはすぐに聞くことができるようにするのはもちろん、医師としての生きがいを感じてもらえるようにしたい。また、実習期間中に開催される学会に参加し最先端の医療をみることで、今勉強していることが将来どのように生かされるのかを知り、勉学に対する意欲を強めてもらいたい。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	腹部超音波検査見学、レクチャー	内視鏡室	橋本教授
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
火	9：00～12：00	内視鏡検査見学（胃）	内視鏡室	武藤講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
水	9：00～12：00	ふり返り自己学習	医局	小林教授
	13：00～17：00	内視鏡検査見学（大腸）	内視鏡室	小林教授
木	9：00～12：00	外来見学	内科外来１	橋本教授
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
金	9：00～12：00	ふり返り自己学習	医局	橋本教授
	13：00～17：00	透視検査（ERCP など）	透視室	山本准教授

講　座　名	精神神経科学
責　任　者	北島剛司
受入可能人数	前半　後半　各５名
実習内容	*＊モデル・コアカリキュラムに準拠し M5 での臨床実習の不足分を補充する位置づけとして発展的実習に取り組む。* 精神科診療の実際の理解と、一般診療場面で必要とされる面接技法や患者・家族の心理を理解する上で欠かせない行動科学的な介入技術の取得を目標とする。 1)面接技法と精神症状の捉え方の基本を身につける。 2)頻度の高い精神疾患に対する初期対応と治療の実際を学ぶ。 3)コンサルテーションの現場に立ち会い、他診療科と共同して行う精神科診療の実践を学ぶ。 **※自己学習時間は設けない。終日実習に参加すること。** 【週間スケジュール】 (大学病院) ■午前：１．外来陪席（見学）と初診患者の初診 ■午後：１．精神科病棟での診療 ２．他診療科に入院中の患者のコンサルテーション医療に参加 ■特別：月曜日 14:00 入院カンファレンス 15:00 教授回診（症例プレゼンテーション） 17:30 退院カンファレンス

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9:00~13:00	外来見学	精神科外来	各指導医	第１週目はガイダンス（集合は精神科外来）
	14:00~16:00	入院カンファレンスと教授回診			スタッフ館５Ｆオープンスペース
	16:00~17:30	病棟患者診察	C-1/C-B1 病棟	各指導医	
	17:30~18:30	退院カンファレンス			スタッフ館５Ｆオープンスペース
火	9:00~13:00	外来見学	精神科外来	各指導医	
	14:00~17:00	病棟患者診察 /他診療科からのコンサルテーション見学	C-1/C-B1 病棟	各指導医	週に１回はコンサルテーション見学
水	9:00~13:00	外来見学	精神科外来	各指導医	
	14:00~17:00	病棟患者診察 /他診療科からのコンサルテーション見学	C-1/C-B1 病棟	各指導医	週に１回はコンサルテーション見学
木	9:00~13:00	外来見学	精神科外来	各指導医	
	14:00~17:00	病棟患者診察 /他診療科からのコンサルテーション見学	C-1/C-B1 病棟	各指導医	週に１回はコンサルテーション見学
金	9:00~13:00	外来見学	精神科外来	各指導医	
	14:00~17:00	病棟患者診察 /他診療科からのコンサルテーション見学	C-1/C-B1 病棟	各指導医	週に１回はコンサルテーション見学

講　座　名	皮膚科学
責　任　者	杉浦一充
受入可能人数	前半　後半　各６名
実習内容	本年は、将来、皮膚科医をめざし、医療の現場で熱心に実習し、考え、医療チームの一員として行動できる学生を歓迎します。 外来ならびに入院患者を診療し、皮膚科一般、皮膚外科、皮膚アレルギーについて学びます。各学生には、担当指導医を決め実習を行います。 皮膚病理組織検討会、各種の勉強会、研究会、学会にも参加して、皮膚科学の魅力を知っていただきたいと思います。皮膚科学教室の明るく、和やかな雰囲気のなかで、臨床の力と病態生理を考える力を伸ばしましょう。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	初診外来、再診外来の見学	皮膚科外来	杉浦一充
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	院内	杉浦一充
火	9：00～12：00	初診外来、再診外来の見学	皮膚科外来	渡邊総一郎
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	院内	渡邊総一郎
水	9：00～12：00	初診外来、再診外来の見学	皮膚科外来	有馬　豪
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	院内	有馬　豪
木	9：00～12：00	初診外来、再診外来の見学	皮膚科外来	岩田洋平
	13：00～17：30	教授回診、カンファランス	院内	杉浦一充
金	9：00～12：00	初診外来、再診外来の見学	皮膚科外来	山北高志
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	院内	山北高志

講　座　名	小児科学
責　任　者	川田潤一
受入可能人数	前半　後半　各４名
実 習 内 容	(1) 指導医について、マンツーマンで小児科外来診療、入院診療について学ぶ。 (2) 乳児検診に参加し、正常乳児の発育、発達について学ぶ。 (3) 予防接種について正しい知識を学ぶ。 (4) 循環器外来に参加し、聴診ならびに心エコー、心電図の解析ができるようになる。 (5) 教授回診時、症例検討会で受け持ち患者についてプレゼンテーションする。 (6) 採血、点滴、腰椎穿刺等の主要な手技を見学する。 (7) (午後からは) ふりかえり自己学習を行う(希望者)。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	病棟実習	B8 病棟/NICU	各グループ医
	13：00～17：00	ふりかえり自己学習		
火	9：00～12：00	病棟実習	B8 病棟/NICU	各グループ医
	13：00～17：00	教授回診　ワクチン外来	B8 病棟、外来	川田教授
水	9：00～12：00	心臓外来研修	外来	内田講師
	13：00～17：00	ふりかえり自己学習　乳児健診	外来	健診担当医師
木	9：00～12：00	病棟実習	B8 病棟/NICU	各グループ医
	13：00～17：00	教授回診	B8 病棟	伊藤教授
金	9：00～12：00	病棟実習	B8 病棟/NICU	各グループ医
	13：00～17：00	ふりかえり自己学習		

講　座　名	放射線医学
責　任　者	井上政則
受入可能人数	前半　後半　各５名
実 習 内 容	１)画像診断(CT、MRI 中心) ２)核医学(SPECT、SPECT/CT、PET/CT) ３)血管造影・IVR ４)学会・研究会・勉強会参加 ５）クルズス（画像診断） １)～５)について、若手を含めた医師と一緒に日常業務に参加し、on the job training を基本とします。 ４)実習の期間中に開催される学内、学外の学会・研究会・勉強会に参加し、放射線医学の最新情報について勉強していただきます。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合
月	9：00～12：00	クルズス、あるいは読影あるいはアンギオ	主に放射線棟
	13：00～17：00	振り返り自己学習	
火	9：00～12：00	クルズス、あるいは読影あるいはアンギオ	主に放射線棟
	13：00～17：00	振り返り自己学習	
水	9：00～12：00	クルズス、あるいは読影あるいはアンギオ	主に放射線棟
	13：00～17：00	振り返り自己学習	
木	9：00～12：00	クルズス、あるいは読影あるいはアンギオ	主に放射線棟
	13：00～17：00	振り返り自己学習	
金	9：00～12：00	クルズス、あるいは読影あるいはアンギオ	主に放射線棟
	13：00～17：00	振り返り自己学習	

講　座　名	放射線腫瘍科
責　任　者	上薗　玄
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	(学内放射線腫瘍科のみ) 放射線治療は画像診断学と密接､不可分の関係にあるので放射線診断と併せて実習することが望ましい。 １．外来(新患) 放射線治療依頼を受けた際の適応判定や照射計画立案に必要な理学所見、画像データについて学習する。放射線治療に必要な画像データの取得方法について学習する。診察に参加し個々の事例における障害の説明方法を習得する。 ２．外来(再診) 照射中の経過観察の診療に参加し、効果判定と照射計画の変更の必要の有無につき学習する。 ３．外照射 放射線治療計画装置を用い治療計画立案を行い、放射線の特性、注意点を学習する。高精度放射線治療である定位照射, IMRT の治療計画ならびに検証を実習し線量計算、計測につき実習する。 ４．小線源治療 小線源治療を模擬体験し、治療計画立案を行い、線量計算、放射線の特性、注意点を学習、実習する。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	放射線外来患者症例検討と照射野実際	放射線治療室	上薗 玄教授
	13：00～17：00	密封小線源（高線量率）症例の検討と実際	放射線治療室	伊藤文隆講師
火	8：30～11：30	放射線治療計画での治療立案の実際	放射線治療室	林 真也教授
	13：00～17：00	小線源治療（低線量率）の実際　症例検討	放射線治療室	伊藤文隆講師
水	9：00～12：00	放射線外来患者症例検討	放射線治療室	上薗 玄教授
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
木	9：00～12：00	放射線治療計画での治療立案の実際	放射線治療室	伊藤文隆講師
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
金	8：30～11：30	放射線治療カンファと外部照射野実際	放射線治療室	林 真也教授
	13：00～17：00	振り返り自己学習		

講　座　名	臨床検査科
責　任　者	伊藤弘康
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	以下の実習を通して、臨床で行われる検査および検査結果の意義を十分理解し、診療に役立てることを目指す。 １）臨床検査部で行われる様々な検査(生化学・免疫検査、血液・一般検査、微生物検査、遺伝子検査、生理機能検査、超音波検査など)を各部門の専門担当者と体験する。特に希望があれば、重点的にその検査の実施を行ってもらう。 ２）revered CPC による検査値判読のトレーニングを行う。 ３）臨床検査部および臨床検査科のカンファレンス・抄読会への参加。

週間スケジュール

Ｍ４－５の臨床実習のある週

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	脳波検査実習	C 棟 1 地下、生理検査室	臨床検査技師
	13：00～17：00	生化学検査	検査棟 1 階	臨床検査技師
火	9：00～12：00	検査結果説明実習	検査棟 3 階	伊藤弘康
	13：00～17：00	採血実習・血液検査実習	C 棟 1 地下、生理検査室	臨床検査技師
水	9：00～12：00	R-CPC	検査棟 3 階	加藤卓
	13：00～17：00	採血実習・血液検査実習	検査棟 1 階	臨床検査技師
木	9：00～12：00	輸血実習	輸血部	臨床検査技師
	13：00～17：00	微生物検査実習	検査棟 3 階	臨床検査技師
金	9：00～12：00	臨床検査統計学	検査棟 3 階	熊谷直憲
	13：00～17：00	生理検査実習	生理検査室	臨床検査技師

Ｍ４－５の臨床実習のない週

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	心電図実習	生理検査室	臨床検査技師
	13：00～17：00	心電図実習	生理検査室	臨床検査技師
火	9：00～12：00	細胞診	検査棟 3 階	櫻井浩平
	13：00～17：00	睡眠検査・脳波検査実習	C 棟 1 地下、生理検査室	臨床検査技師
水	9：00～12：00	生化学検査実習	検査棟 1 階	臨床検査技師
	13：00～17：00	採血実習・血液検査実習	検査棟 1 階	臨床検査技師
木	9：00～12：00	輸血実習	輸血部	臨床検査技師
	13：00～17：00	微生物検査実習	検査棟 3 階	臨床検査技師
金	9：00～12：00	臨床検査統計学	検査棟 3 階	安藤達也
	13：00～17：00	生化学検査実習	検査棟 1 階	臨床検査技師

講　座　名	総合アレルギー科(第二教育病院)
責　任　者	矢上晶子
受入可能人数	前半　後半　各２名
実習内容	1)複数の臓器に症状が誘発されているアレルギー患者さんを経験し、どのように検査を組み、治療を行っていくか、また多科連携の方法を学ぶ。 2)アレルギー検査(特に皮膚に関して) パッチテスト(遅延型アレルギー)、プリックテスト(即時時型アレルギー)の検査に立ち会い、自身でも行う。症例カンファランスに参加する。 3)免疫療法(スギ花粉・ダニ)の治療に立ち会い、最新の免疫療法について学ぶ。 4)アトピー性皮膚炎の患者さんを対象としたスキンケア指導や心身医学的なアプローチの手法を学ぶ。 5)病棟では、重症のアトピー性皮膚炎患者さんや食物や薬剤負荷試験を受ける患者さんを中心とした診療に参加し、病棟回診につく。また、症例カンファランスに参加する。 6)アレルギー疾患対策医療学との合同研究カンファランスに出席する。 希望があれば、二次元電気泳動や質量分析などの手法に触れ、臨床と研究における最新の知識についても学ぶ。 総合アレルギー科実習期間中に、ひとつの診療科では解決できないアレルギー疾患の患者さんへの対応、アレルギーを全身的に診る手法や知識を学ぶ。同時に、皮膚アレルギーの専門的な検査や治療、最先端の研究を学ぶことができる。 多くの患者さんを経験し、カンファランスに出席することにより、他では経験できないアレルギーに対する知識を、広く深く学ぶことができる。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	外来見学	総合アレルギー科外来	矢上教授
	13：00～17：00	病棟回診・ふり返り自己学習	8F 病棟	矢上教授
火	9：00～12：00	外来見学	総合アレルギー科外来	矢上教授
	13：00～17：00	外来見学	総合アレルギー科外来	矢上教授
水	9：00～12：00	外来見学	総合アレルギー科外来	二村准教授
	13：00～17：00	症例検討会	講義室（都度変更有）	矢上教授
木	9：00～12：00	外来見学	総合アレルギー科外来	大矢教授
	13：00～17：00	病棟回診・ふり返り自己学習	8F 病棟	矢上教授
金	9：00～12：00	外来見学	総合アレルギー科外来	二村准教授
	13：00～17：00	クルズス	8F 病棟	矢上教授

講　座　名	総合診療科（第四教育病院）
責　任　者	大杉泰弘（担当：安藤諭、加藤心良）
受入可能人数	前半　後半　各３名
実習内容	本実習では、急性期病院における総合診療科（ホスピタリスト）の役割と実践を、臨床現場での経験を通して体得することを目的とします。患者の訴えが多様かつ未分化な状態から始まる初期対応、診断的思考、入院中の全人的管理、チーム医療の実践、退院支援まで一貫して関わることで、医師としての基礎的臨床能力とプロフェッショナリズムを養います。 主な活動内容は以下のとおりです： 1. 病棟での主治医的関わり（担当医の補助） 指導医の下で、数名の入院患者を受け持ち、診療計画の立案、回診、情報収集、カルテ記載、家族説明、退院調整等に関与します。疾患管理のみならず、ADL や社会背景を踏まえた総合的な判断力を養います。 2. 初期診療・救急外来の見学と参加 総合内科的視点でのトリアージ、鑑別診断、初期マネジメントを学びます。救急部や ER での指導医との同行を通じて、急性期対応力の基礎を身につけます。 3. 多職種カンファレンス・地域連携の理解 看護師、薬剤師、リハビリ、MSW など多職種と連携した症例カンファレンスへの参加を通じ、急性期から慢性期・在宅医療への橋渡しを体験します。 4. 臨床推論トレーニング・勉強会参加 問診・身体診察を重視した臨床推論のプロセスを学びます。日々の振り返りや、勉強会/レクチャーにも参加し、EBM に基づく思考を育みます。 5. 振り返りとフィードバック 定期的に個別面談を行い、診療の振り返りとフィードバックを実施します。臨床上の課題や学びを共有し、次のステップへつなげます。 本実習では、総合診療科が担う「疾患と人の統合的理解」「急性期から在宅への橋渡し」「多職種連携によるマネジメント」といった実践を、自ら体験することができます。多様な患者背景や疾患を持つ方々との関わりを通じて、臨床的思考力、コミュニケーション力、プロフェッショナリズムを深める機会としていただければ幸いです。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9:00~10:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	10:00~12:00	総合診療科チーム 患者振り返りカンファレンス	第 2 医局	安藤	所属チームの全患者の振り返りを行います。
	13:00~16:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	16:00~17:00	振り返り	第 2 医局	担当医	診療の振り返り/学習課題の抽出や確認を行います。
火	9:00~10:00	チームカンファレンス	第 2 医局	チーム指導医	チーム患者の共有、診療内容の確認を行います。
	10:00~12:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	13:00~16:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	16:00~16:30	振り返り	第 2 医局	担当医	診療の振り返り/学習課題の抽出や確認を行います。
	16:30~17:00	初期研修医向け総合診療科 /画像コアレクチャー	第 2 医局	山田/秦	岡崎医療センター初期研修医向けに当科が開催しているレクチャーに参加します。
水	9:00~10:00	チームカンファレンス	第 2 医局	チーム指導医	チーム患者の共有、診療内容の確認を行います。
	10:00~12:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	12:00~12:30	振り返り	第 2 医局	担当医	診療の振り返り/学習課題の抽出や確認を行います。
	14:00~17:00	レジデントデイ	第 2 医局/ 豊田地域医療センター	担当医	総合診療科専攻医の受けるコアレクチャーに参加します。
木	9:00~10:00	チームカンファレンス	第 2 医局	チーム指導医	チーム患者の共有、診療内容の確認を行います。
	10:00~11:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	11:00~12:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	13:00~16:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	16:00~17:00	振り返り	第 2 医局	担当医	診療の振り返り/学習課題の抽出や確認を行います。
金	9:00~10:00	チームカンファレンス	第 2 医局	チーム指導医	チーム患者の共有、診療内容の確認を行います。
	10:00~12:00	病棟診療	6S 病棟など	担当医	担当患者の診療/医学知識の習得を行います。
	14:00~15:00	多職種カンファレンス	6S 病棟オープンスペース	チーム指導医	看護師、理学療法士、栄養士、ソーシャルワーカーと担当患者の退院支援に関する会議を行います。
	16:00~17:00	振り返り	第 2 医局	担当医	診療の振り返り/学習課題の抽出や確認を行います。

※所属チームにより、総合診療科チーム患者振り返りカンファレンス、多職種カンファレンス、教育回診の曜日や時間が変化することがあります。

講　座　名	総合消化器外科学（先端ロボット・内視鏡手術学を含む）
責　任　者	須田康一
受入可能人数	前半　後半　各６名
実習内容	臨床実習よりさらに充実したクリニカルクラークシップを体験する。診療チームの一員として患者さんを受持ち、診察・検査・手術・術後管理などの実際に従事する。病棟業務については処置回診を行い、ガーゼ交換、ドレーン管理、抜糸など行う。患者さんの状態を細かく観察し、問題点を抽出し主治医とともに対策を検討する。手術については受持患者さんはもちろん他の患者さんの手術にも助手として参加する。腹部超音波、消化管造影、内視鏡検査などの諸検査については、施行医の補助を行う。また、臨床において、画像の読影・文献検索・学会発表の技法を習得する。 外科診療はチームワークが大切なので、学生諸君もその中に入って雰囲気を実感して欲しい。積極的に取り組み、実りある修練としてください。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	病棟回診・手術助手	6S 病棟	各臓器グループ班長
	13：00～17：00	手術助手 ・カンファレンス参加（グループごと）		各臓器グループ班長
火	9：00～12：00	病棟回診・手術助手	6S 病棟	各臓器グループ班長
	13：00～17：00	手術助手・カンファレンス参加（グループごと） ・ふり返り自己学習 可		各臓器グループ班長
水	9：00～12：00	病棟回診・手術助手	6S 病棟	各臓器グループ班長
	13：00～17：02	手術助手 ・カンファレンス参加（グループごと）		各臓器グループ班長
木	9：00～12：00	病棟回診・手術助手	6S 病棟	各臓器グループ班長
	13：00～17：04	手術助手 ・カンファレンス参加（グループごと）		各臓器グループ班長
金	9：00～12：00	病棟回診・手術助手	6S 病棟	各臓器グループ班長
	13：00～17：06	手術助手・カンファレンス参加（グループごと） ・ふり返り自己学習 可		各臓器グループ班長

講　座　名	小児外科学
責　任　者	井上幹大
受入可能人数	前半　後半　各２名
実習内容	スタッフの小児外科スタッフとマンツーマンで行動を共にし、小児外科臨床の実際を体験する。医師国家試験における小児外科分野、肝臓移植分野のみならず外科基本知識の学習も同時に教育していく。特に小児外科手術を中心に術前、術中、術後管理と周術期管理を通して、小児および外科分野の知識、病態生理等を分かり易く解説し理解を深める。また、手術においては積極的に助手として参加することができる。 肝移植診療を通して肝臓外科診療の基本と、各種感染症、免疫抑制療法等の実際も併せて体験することができる。 実習期間中に当科所属の学会、研究会等があれば希望に応じてスタッフとともに参加することも可能である。 最大の特徴は、専門分科が強い昨今、特別な専門臓器を決めることなく全領域の疾患を診ることができることである。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	08:30～16:30	手術実習	手術室	手術担当医	
	16:30～17:00	回診	B-8 病棟	指導医	手術が終わっていない場合は手術を優先
	17:30～18:30	手術症例カンファレンス	C 棟 11 階医局	全員	手術終了後に行うため手術予定によって開始時間は変更
火	09:00～12:00	回診・日常診療実習	B -8 病棟	指導医	
	13:30～16:30	ふり返り自己学習			
	16:30～17:00	回診	B-8 病棟	指導医	
水	09:00～12:00	回診・日常診療実習	B -8 病棟	指導医	
	13:30～16:30	ふり返り自己学習			
	16:30～17:00	回診	B-8 病棟	指導医	
木	08:30～16:30	手術実習	手術室	手術担当医	
	16:30～17:00	回診	B-8 病棟	指導医	手術が終わっていない場合は手術を優先
	17:30～18:30	手術症例カンファレンス	C 棟 11 階医局	全員	手術終了後に行うため手術予定によって開始時間は変更
金	09:00～12:00	回診・日常診療実習	B -8 病棟	指導医	
	13:30～16:30	ふり返り自己学習			
	16:30～17:00	回診	B-8 病棟	指導医	

講　座　名	心臓外科学
責　任　者	阿部知伸
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	実習の期間は４週間を前半の２週と後半の２週に分けるか、または相談により希望の期間とします。心臓外科、カテーテルによる血管内治療(TAVI を含む)の１～２分野の患者さんを受け持ちます。ポリクリ実習では手術見学のみの短期間実習でしたが、選択制臨床実習では入院から退院までの全行程をじっくり体験していただきます。病棟診療、心カテーテル・心血管造影検査、手術、術後集中治療などを研修医および受持医と行動を共にして勉強します。症例検討会、抄読会でも報告、発表をしていただき、知識と実技に磨きをかけたいと思います。学内外の研究会、レクリエーションにも医局員同様参加してもらいます。心臓外科に興味を持っている学生は是非きてください。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9:00～12:00	病棟回診	病棟	山之内/松浦	
	13:00～17:00	外来	外来	松浦	
火	9:00～12:00	手術	手術室	全医師	
	13:00～17:00	手術	手術室	全医師	手術後はふり返り自己学習
水	9:00～12:00	外来もしくは手術	外来/手術室	全医師	
	13:00～17:00	外来もしくは手術	外来/手術室	全医師	
木	9:00～12:00	手術	手術室	全医師	
	13:00～17:00	手術	手術室	全医師	手術後はふり返り自己学習
金	9:00～12:00	外来	外来	根本/櫻井	
	13:00～17:00	ふり返り自己学習		根本/櫻井	

講　座　名	血管外科学
責　任　者	山之内大
受入可能人数	前半　後半　各１名
実 習 内 容	●血管外科医の一員として共に行動し、術前診察から診断・手術・術 後管理まで、一連の外科治療の流れを学ぶことで、以下の習得を目指す。 ・ 国家試験に出題される腹部臓器や血管の解剖の把握。特に頻出問題である腹部大動脈瘤や下肢閉塞性動脈硬化症、深部静脈血栓症について学ぶ。 ・ 医師としての倫理観。 ・ 基本的な外科手技を経験し、血管外科分野への興味を持つ。 ●カンファレンス(火曜朝、木曜朝)にはできるだけ出席する。 ●医師国家試験に向けた血管疾患に関わるミニレクチャーを 受ける。 ●医師国家試験に向けた自習時間も確保し、不明な点は積極的に質問する。 ●やりたいことがあれば、できる限りサポートする(学会発表や外科手技の練習など)。 ●1 人の患者を受け持ち、最後にレポートを提出する。特に発表は行わず、実習態度等を加味して評価する。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9：00～12：00	病棟回診	病棟	山之内/前野	
	13：00～17：00	病棟回診	病棟	前野	
火	9：00～12：00	手術	手術室	全医師	
	13：00～17：00	手術	手術室	全医師	手術後はふり返り自己学習
水	9：00～12：00	外来もしくは手術	外来/手術室	全医師	
	13：00～17：00	外来もしくは手術	外来/手術室	全医師	
木	9：00～12：00	手術	手術室	全医師	
	13：00～17：00	手術	手術室	全医師	手術後はふり返り自己学習
金	9：00～12：00	外来	外来	根本/櫻井	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		根本/櫻井	

講　座　名	呼吸器外科学
責　任　者	星川　康
受入可能人数	前半　後半　各１名
実習内容	初期研修医に求められる(呼吸器外科)診療の基礎を身につけるために、胸部解剖、呼吸生理および呼吸器外科領域の一般的疾患の診断・手術適応・術式・周術期管理を evidence based medicine の根拠に基づき理解します。受け持ち患者さんの病状を把握し、胸部 X 線写真・CT の読影、血液および生理学的検査成績の評価を行い、その内容を症例検討会・病棟回診でプレゼンテ―ションします。さらに、手術に参加し、開胸助手、スコピスト、閉胸と基本的な術後創傷処置を行います。診療録を記載しながら、一つ一つの問題点を討議し対策まで立案する、医療推論を重要視した参加型実習を実践します。肺移植診療、新規手術支援ロボットを使用した手術などの先端医療にも参加します。そして、チーム医療の中で、患者、家族、指導医、他の医療従事者との適切な関係を築きます。 医療の基本的な考え方、医学の魅力・楽しさ、医療人・社会人としての基本的な姿勢を伝えます。 興味のある学生さんは、是非呼吸器外科にいらしてください。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	8：00～8：30	カンファレンス	スタッフ館Ⅱ8F 会議室	星川康教授
	8：30～9：00	病棟回診		回診担当医
	9：00～12：00	手術実習または病棟回診・処置実習		手術または回診担当医
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
火	8：00～8：30	カンファレンス	スタッフ館Ⅱ8F 会議室	星川康教授
	8：30～9：00	呼吸器内科外科合同カンファレンス		松田安史准教授
	9：00～12：00	手術実習または病棟回診・処置実習		手術または回診担当医
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
水	8：00～8：30	カンファレンス	スタッフ館Ⅱ8F 会議室	松田安史准教授
	8：30～12：00	病棟回診・処置実習		回診担当医
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
木	8：00～8：30	カンファレンス	スタッフ館Ⅱ8F 会議室	星川康教授
	8：30～9：00	病棟回診		回診担当医
	9：00～12：00	手術実習または病棟回診・処置実習		手術または回診担当医
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
金	8：00～8：30	カンファレンス	スタッフ館Ⅱ8F 会議室	星川康教授
	8：30～12：00	病棟回診・処置実習		回診担当医
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		

講　座　名	乳腺外科学
責　任　者	喜島祐子
受入可能人数	前半　後半　各４名
実 習 内 容	半ふりかえり自己学習コース 医師国家試験に向けてのふりかえり自己学習時間を十分に確保できる。 １）午前中は病棟回診、一般病棟実習、以下の実習を行う。 午後はふりかえり自己学習時間とする。 ２）シミュレーターを用いた乳房視触診実習 ３）シミュレーターを用いた皮膚縫合結紮実習 ４）手術参加 ５）術前・術後・画像カンファレンス(月曜夕、木曜夕)に出席する。 ６）乳腺外科学に関する学習課題を設定し､最後に学習発表を行う。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	回診・実習	病棟	
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
	18：00～19：00	術前・術後・画像カンファレンス	医局	
火	9：00～12：00	回診・実習	病棟	
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
水	9：00～12：00	回診・実習	病棟	
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
木	9：00～12：00	手術参加	手術室	
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
	18：00～19：00	術前・術後・画像カンファレンス	医局	
金	9：00～12：00	手術参加	手術室	
	13：00～17：00	振り返り自己学習		

講　座　名	移植・再生医学
責　任　者	伊藤泰平
受入可能人数	前半　後半　各４名
実 習 内 容	１．病棟 受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。毎朝の廻診を医師と一緒にラウンドし、カンファランス に参加する。 ２．手術 移植手術(腎移植、膵臓移植)に参加する。 ３．移植医療支援室 支援室における、移植相談、移植の IC 等に参加する。 ４．希望があれば、移植免疫学、免疫抑制剤の遺伝子多型による投与法などの基礎的研究から最新の知識を習得する。 実習期間中に、移植医療の特殊性(生体ドナーの適応、倫理性、移植後の管理)について学ぶとともに、移植医療の課題と先進技術について習得する。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	病棟回診、カンファランス	C-4 病棟	栗原講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
火	9：00～12：00	病棟回診、カンファランス	C-4 病棟	會田講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
水	9：00～12：00	手術、カンファランス	C-4 病棟	伊藤准教授
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
木	9：00～12：00	病棟回診、外来見学	C-4 病棟	會田講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
金	9：00～12：00	病棟回診、外来見学	C-4 病棟	寺尾助教
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		

講　座　名	外科緩和医療学
責　任　者	臼井 正信（正)、 小出 欣和（担当)、徳田 倍将（担当）
受入可能人数	前半　後半　各１名
実 習 内 容	基本実習時間 9 時から 17 時まで 土曜日実習はなし 実習内容は担当医と相談 原則は下記参加 午前中：担当医と病棟回診・病棟実習または外来診療見学 午後：月曜日 病棟患者のカンファランス 勉強会またはデスカンファランス またはキャンサーボード 緩和ケアチーム回診患者の入棟検討会議 緩和ケアチーム回診 火曜日 ふりかえり自己学習（国家試験勉強） 水曜日 ふりかえり自己学習（国家試験勉強） 木曜日 緩和ケアチームカンファランス +緩和ケアチーム回診 金曜日 ふりかえり自己学習（国家試験勉強） 希望があれば、在宅医（訪問診療医）の診療に同行・参加可能

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9：00～12：00	病棟実習または外来診療見学	C-7病棟	小出、徳田	外来：徳田
	13：30～ ～14：30	病棟患者の退院支援カンファランス（C7 ｺﾐｭﾆﾃｨｰﾙｰﾑ） 緩和ケアチーム回診患者の入棟検討会議 勉強会、デスカンファ、キャンサーボード（週で変更）	C-7病棟	小出、徳田	
	14：30～17：00	緩和ケアチーム回診	C-7病棟	都築	
火	9：00～12：00	病棟実習または外来診療見学	C-7病棟	徳田	外来：山下
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	C-7病棟	徳田	
水	9：00～12：00	病棟実習または外来診療見学	C-7病棟	小出、徳田	外来：小出
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	C-7病棟	小出、徳田	
木	9：00～12：00	病棟実習または外来診療見学	C-7病棟	小出	外来：臼井
	13：00～17：00	緩和ｹｱﾁｰﾑｶﾝﾌｧﾗﾝｽ（C3 ｶﾝﾌｧﾗﾝｽﾙｰﾑ）＋緩和ｹｱﾁｰﾑ回診	C-7病棟	小出、都築	
金	9：00～12：00	病棟実習または外来診療見学	C-7病棟	徳田、小出	外来：川崎
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	C-7病棟	徳田、小出	

講　座　名	内分泌外科
責　任　者	日比八束
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	内分泌外科における実習では、臨床面での実習を主として行う。当科では、内分泌疾患として甲状腺、副甲状腺、副腎の腫瘍性および過形成病変の外科的診療を行っており、外来および入院患者の診察、検査、診断、治療について経験してもらう。この際には、実際の手技はもとより、その適応や方法の選択などについて指導を受けることになる。定期的に行っている抄読会や症例検討会、学外での研究会などにも積極的に参加してもらう。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	病棟回診	B-4E 病棟	富家由美
	13：00～17：00	外来・検査見学	B-4E 病棟	富家由美
火	9：00～12：00	病棟回診	B-4E 病棟	日比八束
	13：00～17：00	外来・検査見学	B-4E 病棟	日比八束
水	9：00～12：00	病棟回診	B-4E 病棟	小川貴美雄
	13：00～17：00	外来・検査見学	B-4E 病棟	小川貴美雄
木	9：00～12：00	手術参加	B-4E 病棟	日比八束
	13：00～17：00	手術参加	B-4E 病棟	日比八束
金	9：00～12：00	手術参加	B-4E 病棟	日比八束
	13：00～17：00	手術参加	B-4E 病棟	日比八束

講　座　名	消化器外科学(第二教育病院)
責　任　者	堀口明彦
受入可能人数	前半　後半　各２名
実習内容	1)こんなことが学べます。 ○採血、消毒、皮膚縫合など基本手技がマスターできます。 ○担当医の一人として患者さんを受け持ち、術前診断から手術までを経験できます。消化器外科（虫垂炎、ヘルニア、胃癌、大腸癌、膵癌、肝癌など)、血管外科(下肢静脈瘤など)、呼吸器外科（気胸など）小児外科（ヘルニアなど）と幅広い外科学の症例を経験できます。 ○市中病院で経験するコモンディジーズから、大学病院の高度専門医療までを総合的に学べます。 2)ここまでやれます。 ○実際に採血、消毒、皮膚縫合、抜糸などの手技を行います。 ○術前術後の検査結果、画像を指導医とともに評価検討し、診断能力を鍛えられます。 ○患者さんへのインフォームドコンセントに参加できます。 ○手洗いをし、手術に参加できます。 ○国内の学会・研究会に参加可能で、希望があれば発表もしていただきます。 基本的には参加型臨床実習であり自習は不可です。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	8：30～9：00	チームカンファレンス	外科医局	堀口先生、谷先生
	9：00～12：00	手術、病棟回診	手術室、4階病棟、検査室	国村先生、谷先生
	13：00～17：00	手術、検査・処置、振り返り自己学習	手術室、透視室、外科医局	
火	9：00～12：00	手術、病棟回診	手術室、4階病棟	谷先生、堀口先生
	13：00～17：00	手術、検査・処置、振り返り自己学習	手術室、透視室、外科医局	
	17：00～18：00	術前カンファレンス	外科医局	勝野先生
水	8：30～9：00	チームカンファレンス	外科医局	国村先生、谷先生
	9：00～12：00	手術、病棟回診	手術室、4階病棟	多代先生、今中先生
	13：00～17：00	手術、検査・処置、振り返り自己学習	手術室、透視室、外科医局	
木	7：30～9：00	入退院カンファレンス	外科医局	勝野先生
	9：00～12：00	手術、病棟回診	手術室、4階病棟	加藤先生、国村先生
	13：00～17：00	手術、検査・処置、振り返り自己学習	手術室、透視室、外科医局	
金	8：30～9：00	チームカンファレンス	外科医局	堀口先生、谷先生
	9：00～12：00	手術、病棟回診	手術室、4階病棟	多代先生、堀口先生
	13：00～17：00	手術、検査・処置、振り返り自己学習	手術室、透視室、外科医局	

＊月曜または火曜夕方に不定期で薬剤説明会があります。(外科医局)
＊隔週木曜夕方に消化器内科・外科合同カンファランスがあります。(外科医局)　＊毎水曜日午後に病理検体切り出しがあります。
＊手術・緊急対応・学会などで担当医が変更となることがあります。

講　座　名	呼吸器低侵襲外科学
責　任　者	須田　隆
受入可能人数	前半　後半　各１名
実習内容	呼吸器低侵襲外科学は、呼吸器領域の腫瘍性疾患、炎症性疾患、胸膜疾患、縦隔疾患における外科診療、特に内視鏡手術による低侵襲外科領域の診療を行う外科分野です。当科は最先端のロボット支援手術を含めた低侵襲手術を実践し、新しい手術法の開発を行っています。当科の到達目標は、内視鏡外科的手技を習得するとともに、自ら最先端の低侵襲手術の臨床研究、新しい手術手技の開発やその臨床評価を行い、その成果を世界に向けて発信できるようになることです。 実習では、胸部の画像診断（レントゲン、ＣＴ、ＰＥＴなど）および外科手術基本手技、内視鏡手術操作、ロボット手術操作の基本が学べます。 希望者には、筆頭者として学会参加（国内外）、学会発表、論文作成などもできるよう指導できます。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	8：30～9：00	朝カンファランス	医局図書館	根木隆浩
	9：00～17：00	手術見学及び修練	手術室	根木隆浩
火	8：30～9：00	朝カンファランス	医局図書館	根木隆浩
	9：00～17：00	手術見学及び修練	手術室	根木隆浩
水	8：30～9：00	朝カンファランス	医局図書館	根木隆浩
	9：00～17：00	手術見学及び修練	手術室	根木隆浩
木	8：30～9：00	朝カンファランス	医局図書館	栃井祥子
	9：00～17：00	手術見学及び修練	手術室	栃井祥子
金	9：00～12：00	回診業務および画像診断研修	病棟	栃井大輔
	13：00～17：00	ふり返り自己学習	図書室	栃井大輔

講　座　名	脳神経外科学
責　任　者	廣瀬雄一
受入可能人数	前半　後半　各４名
実 習 内 容	脳神経外科病棟において脳腫瘍、脳血管障害、脊椎病変といった神経学的症状の原因になる各種疾患に対する李解を支援する。すなわち手術の他、薬物療法、放射線療法、血管内治療を含めた多角的治療法の実際についても教育する。この他、電気生理学の知識に基づいた機能的脳神経外科の分野についても教育を行い、新しい脳神経外科学の習得を支援する。希望者にはNCUにおける急性期重症脳血管障害、頭部外傷治療の実際を見学することも認められ、救命医療の理解を深める助けとする。いずれの病棟においても指導医の管理のもと、処置、診察への参加を認める。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	NCU 症例実習	NCU 病棟	中江俊介 准教授
	13：00～17：00	血管内治療見学	放射線棟 3F	中江俊介 准教授
火	9：00～12：00	手術見学	手術室（25 番）	中江俊介 准教授
	13：00～17：00	手術見学	手術室（25 番）	中江俊介 准教授
水	9：00～12：00	手術見学	手術室（25 番）	中江俊介 准教授
	13：00～17：00	手術見学	手術室（25 番）	中江俊介 准教授
木	9：00～12：00	ふり返り自己学習	脳神経外科外来	武藤 淳 准教授
	13：00～17：00	NCU 症例実習	NCU 病棟	中江俊介 准教授
金	9：00～12：00	手術見学	手術室（25 番）	中江俊介 准教授
	13：00～17：00	手術見学	手術室（25 番）	中江俊介 准教授

講　座　名	脳卒中科
責　任　者	松本省二
受入可能人数	前半　後半　各２名
実習内容	１．脳卒中カンファレンス 月曜～土曜の毎朝 8：30 から行われる本カンファレンスに出席し、前日入院の脳卒中急性期症例(NCU，SCU 入院)の診断、治療について学ぶ。 ２．NCU研修 NCU入院症例について、急性期脳卒中の診療をERの段階から、スタッフとともに担当し、診断、治療のプロセスを身につける。なかでも tPA 静注療法、急性期再開通療法の基本を学ぶ。 ３．脳血管内治療 ハイブリッド手術室における脳血管内治療に加わり、頚動脈ステント留置術などの実際について見学研修する。 ４．脳卒中リハビリテーションカンファレンス 水曜 16:00 から、脳卒中科、脳神経外科、リハビリテーション科、脳卒中リハビリテーション認定看護師、FNP、MSW などによって行われる本カンファレンスに参加し、急性期からの脳卒中リハビリテーション、院内、院外における診療連携について見学研修を行う。 これらを通して、脳卒中診療の最先端を学ぶ。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	外来・NCU 実習	7S 病棟カンファレンス室	高下教授
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
火	9：00～12：00	外来・NCU 実習	7S 病棟カンファレンス室	松本教授
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
水	9：00～12：00	脳血管内治療見学	7S 病棟カンファレンス室	松本教授
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
木	9：00～12：00	外来自習	7S 病棟カンファレンス室	松本教授
	13：00～17：00	振り返り自己学習		
金	9：00～12：00	NCU 実習	7S 病棟カンファレンス室	橋本准教授
	13：00～17：00	振り返り自己学習		

講　座　名	形成外科
責　任　者	奥本隆行
受入可能人数	前半　後半　各３名
実 習 内 容	外来診察介助、病棟回診(術前指示・術後処置)、 手術の助手、外来手術の助手、アザのレーザー治療介助など (原則として研修医に準ずる)

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	手術助手	手術室　No.7,8	西岡講師
	13：00～17：00	手術助手	手術室　No.7,8	西岡講師
火	9：00～12：00	外来診察介助	B 棟 1 階形成外科外来	奥本教授
	14：00～16：00	病棟回診（術後処置，術前指示）	B 棟 8 階	奥本教授
	16：00～17：00	カンファレンス（症例提示）	C 棟 12 階会議室	奥本教授
水	9：00～12：00	病棟回診，縫合実習	B 棟 8 階	茂木助教
	14：00～17：00	外来手術助手，レーザー治療介助	B 棟 1 階形成外科外来	山内助教
木	9：00～12：00	手術助手	手術室　No.7,8	山内助教
	13：00～17：00	手術助手	手術室　No.7,8	山内助教
金	9：00～12：00	外来診察介助	B 棟 1 階形成外科外来	井上准教授
	14：00～17：00	外来手術助手，レーザー治療介助	B 棟 1 階形成外科外来	鍋谷助教

講　座　名	整形外科学
責　任　者	藤田順之
受入可能人数	前半　後半　各５名
実 習 内 容	脊椎、膝、股、手、腫瘍、スポーツの各臨床班から学生の希望により選択し、指導医のもとに外来、病棟、検査、手術などすべての業務に同行する。実際の医行為も、指導医のもとに、かなりの種類を経験する。希望があれば、病棟で準主治医的な業務を担当することも可能である。また、当院では、骨折や多発外傷などの外傷患者も多いので、整形外科的な救急医療についても経験できる。CCS との最大の違いは、４週間という期間を共に過ごすことによって、整形外科医療の本質である自然の治癒力を重視し、運動器の機能回復、向上によって患者さんのアメニティーを追求するという基本姿勢を体得できることである。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9：00～12：00	手術、外来、病棟、検査	整形外科医局または手術室	各班指導医	実習初日はオリエンテーションのため医局集合
	13：00～17：00	ふり返り自己学習			
火	9：00～12：00	手術、外来、病棟、検査	手術室	各班指導医	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習			
水	9：00～12：00	手術、外来、病棟、検査	手術室	各班指導医	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習			
木	9：00～12：00	手術、外来、病棟、検査	手術室	各班指導医	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習			
金	9：00～12：00	手術、外来、病棟、検査	手術室	各班指導医	
	13：00～17：00	ふり返り自己学習			

講　座　名	整形外科機能再建学(第二教育病院)
責　任　者	金治有彦
受入可能人数	前半　後半　各３名
実 習 内 容	整形外科への理解を深めることを目的とする。 実習内容は初期研修医とほぼ同様に、手術助手、病棟処置助手などを指導医と共に行う。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	手術助手	手術室	加藤准教授
	13：00～17：00	手術助手	手術室	平野助教
火	9：00～12：00	病棟処置助手	5F 病棟	伴助教
	13：00～17：00	手術助手	手術室	草深助教
水	9：00～12：00	手術助手	手術室	金治教授
	13：00～17：00	手術助手	手術室	伴助教
木	9：00～12：00	手術助手	手術室	金治教授
	13：00～17：00	病棟処置助手	5F 病棟	平野助教
金	9：00～12：00	病棟処置助手	5F 病棟	平野助教
	13：00～17：00	手術助手	手術室	三宅助教

講　座　名	脊椎外科
責　任　者	金子慎二郎
受入可能人数	前半　後半　各１名
実 習 内 容	脊椎疾患の診療に於ける診察・評価・診断・検査・治療計画の立案・治療(手術等)・研究等に関して、総合的に実習を行う。 実習参加者の希望に応じて、上記のうちのどの部分に重点を置くかを決め、週間スケジュールの具体的な部分を決める予定である。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	外来・手術等	脊椎外科外来	金子教授、今井講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習等		
火	9：00～12：00	手術等	手術室	金子教授、武田講師
	13：00～17：00	手術・ふり返り自己学習等	手術室	金子教授、武田講師
水	9：00～12：00	手術・検査等	手術室	武田講師、今井講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習等		
木	9：00～12：00	手術等	手術室	武田講師、今井講師
	13：00～17：00	ふり返り自己学習等		
金	9：00～12：00	手術等	手術室	担当医
	13：00～17：00	ふり返り自己学習等		

講　座　名	リハビリテーション医学
責　任　者	大高洋平
受入可能人数	前半　後半　各３名まで
実 習 内 容	主治医として臨床を中心に体験しながら、臨床研究もプレビューする。 1)担当患者を持ち、治療計画、リハビリ処方、入院管理を上級医と一緒に行う。 2)各種評価(歩行、嚥下機能、ADL など)を実際に行い、その意味を考える。 3)上級医と共に研究テーマを考え、小研究を計画、実施する。 4)七栗記念病院(回復期リハビリ)や初台リハビリテーション病院(都市型リハビリ)、輝山会記念病院(地域リハビリ)の見学も可能である。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	8：45～12：00	朝カンファレンス，患者診察，訓練見学	B5 病棟	前田，松浦，和田，稲垣	初日はオリエンテーション
	13：00～17：00	病棟実習またはふり返り自己学習			
火	8：45～12：00	朝カンファレンス，患者診察，訓練見学	B5 病棟	前田，松浦，和田，稲垣	
	13：00～17：00	病棟実習またはふり返り自己学習			
水	8：45～12：00	朝カンファレンス，患者診察，筋電図検査	B5 病棟	前田，松浦，和田，稲垣	
	13：00～17：00	回診，新患カンファレンス，ふり返り自己学習			
木	8：45～12：00	朝カンファレンス，患者診察，訓練見学	B5 病棟	前田，松浦，和田，稲垣	
	13：00～17：00	病棟実習またはふり返り自己学習			
金	8：45～12：00	朝カンファレンス，嚥下内視鏡検査	B5 病棟	前田，松浦，和田，稲垣	最終日は総括
	13：00～17：00	病棟実習またはふり返り自己学習			

講　座　名	腎泌尿器外科学
責　任　者	髙原　健、市野　学
受入可能人数	前半　後半　各３名まで
実習内容	当科での実習(選択制臨床実習)を行う学生は、病棟において４名の学生指導医(准教授または講師)の指導のもと、自身に割り当てられた入院患者さんに対する医療行為を可能な範囲で実施する。IVPやCTなどの画像検査所見の読影について指導医から学び､今後の治療方針をともに検討し、チームの一員として積極的に診療に参加する。受け持ち患者の手術には助手として参加し、基本的な手術手技や手術器械の構造、使用法を学ぶ。また、外来では外来担当医の指導のもと、病歴の聴取の方法、身体所見の取り方、検査の進め方などについて学び、可能性の高い疾患および鑑別診断を列挙できる能力を養う。外来検査にも積極的に参加し、主治医あるいは検査担当医の指導のもとで検査手技を習得する。さらに、モーニングカンファランス、抄読会、リサーチカンファレンスにも参加し、スチューデント・ドクターとしての基本的な日常業務を経験する。 日程の都合が許せば、教室員が部長を務める総合病院（名古屋掖済会病院、名古屋記念病院、公立西知多総合病院、静岡赤十字病院、平塚市民病院、中津川市民病院など）の泌尿器科において、短期実習を行うことも可能である。 以下に選択制臨床実習において学生が医師の指導もとで実施可能な医療行為を示す。 ・病歴聴取、触診、直腸診 ・採血、静脈注射、点滴ルート確保 ・導尿、膀胱穿刺、尿道カテーテルの留置 ・IVP、尿道造影検査、超音波検査 ・膀胱鏡による膀胱内観察、逆行性尿管カテーテル挿入 ・内視鏡手術における凝固止血 ・手術助手 最後に、選択制臨床実習を履修する学生諸君に、本学習を通じて学んでいただきたいことは、私たち泌尿器科医がチームとしていかに患者中心の医療を実践しようと努めているかという点である。すなわち、それぞれの患者に対して、可能な限り科学的かつ論理的で、なおかつ低侵襲で患者に優しい医療を提供しようとする臨床医チームとしての姿勢を理解し、体得することである。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	8：00～12：00	カンファレンス・病棟回診	B4W 病棟	市野准教授	病棟患者の把握
	13：00～16：00	手術助手として参加またはふり返り学習	手術室	高原教授	※
火	8：00～12：00	カンファレンス・病棟回診	B4W 病棟	吉澤講師	
	13：00～16：00	手術助手・小線源治療・カンファレンス準備	手術室	市野准教授	※
水	8：00～12：00	カンファレンス・手術助手	B4W→手術室	竹中講師	※
	13：00～16：00	手術助手	手術室	竹中講師	※
木	8：00～12：00	カンファレンス・手術助手	B4W→手術室	糠谷講師	※
	13：00～16：00	手術助手またはふり返り学習	手術室	糠谷講師	※
金	8：00～12：00	カンファランス・病棟回診	B4W 病棟	吉澤講師	
	13：00～16：00	小線源治療参加	放射線治療室	糠谷講師	※

※指導医のもとで手術中に行われる医療行為
導尿、膀胱穿刺、尿道カテーテルの留置、
膀胱鏡による膀胱内観察、逆行性尿管カテーテルの挿入
内視鏡手術による凝固止血
手術助手

講　座　名	産婦人科学
責　任　者	木須伊織
受入可能人数	前半　後半　各４名
実習内容	チーム医療に参画し、臨床・研究・教育の３つの基本を実地体験する。 １．病棟では、受け持ち患者さんを中心に診療に参加する。ブリーフィングには毎日参加し、チーム医療を実践する。 ２．手術に参加するとともに、婦人科解剖学ならびに疾患別治療法を理解する。 ３．出産（経腟分娩や帝王切開）に立ち会い、妊娠・出産について理解するとともに、周産期医療体制や社会的支援体制について考える。 ４．外来診療にて、産婦人科基本検査や診療に参加する。また患者さんへのインフォームドコンセントを習得する。 ５．希望者は、高度生殖医療（不妊治療）である体外受精（採卵）に参加して、不妊症に対する知識を深める。 ６．教室員に準じて、研究会や学会にも積極的に参加する。 実習中のポリクリ学生の指導を受け持つことで、教育に対する動的な体験をしたり、自己知識を再整理する。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～10：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
	10：00～16：00	手術実習（内視鏡手術）	手術室	主治医
	16：00～17：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
火	9：00～10：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
	10：00～12：00	外来実習	外来	担当医
	12：00～16：00	分娩（帝王切開）実習	分娩室または手術室	主治医
	16：00～17：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
水	9：00～10：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
	10：00～16：00	手術実習（開腹手術）	手術室	主治医
	16：00～17：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
木	9：00～10：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
	10：00～12：00	外来実習	外来	担当医
	12：00～16：00	ふり返り自己学習	産婦人科医局	
	16：00～17：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
金	9：00～10：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医
	10：00～12：00	チーム回診	B4E・B3 病棟他	病棟回診責任医
	12：00～16：00	分娩（帝王切開）実習、手術実習	分娩室または手術室	主治医
	16：00～17：00	ブリーフィング	B3 病棟	病棟回診責任医

講　座　名	産婦人科発育病態医学(第二教育病院)
責　任　者	柴田清住
受入可能人数	前半　後半　各２名
実習内容	ばんたね病院産婦人科発育病態医学講座は、2025 年 4 月現在では 8 名の医師で、悪性腫瘍診療、良性疾患の腹腔鏡手術、一般周産期診療に取り組んでいます。 講座に所属する人数が少ないことを強みに、下記の様に学生の皆さんへの指導は細やかに、またフレキシブルに行っています。 産婦人科に興味がある、あるいは興味がなくても外科系診療科で実りある実習がしたい皆さんをお待ちしています。 ①手術 手術があれば原則的に手術野に入ってもらいます。見学から開始し、鈎持ちなどの役割をお願いしています。習熟に応じ、学生であっても腹腔鏡手術でのカメラ持ち等をしてもらいます。また、医局において、開腹手術での糸結びの練習、腹腔鏡下手術での糸結びの練習もしてもらいます。 ②外来 外来には悪性腫瘍から、良性疾患、合併症妊娠まで幅広い疾患の患者が来院されています。外来見学をしてもらい、状況によっては予診をお願いしています。 ③病棟 経腟分娩があるときには、可能な限り見学をしてもらいます。 ④その他 病棟や医局などで、時間があるときにミニレクチャーをしています。毎週水曜日夕方にカンファレンスがあります。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	外来実習	産婦人科外来	藤田助教
	13：00～17：00	病棟回診	病棟	柴田教授
火	9：00～12：00	手術実習	手術室	水谷講師
	13：00～17：00	手術実習	手術室	柴田教授
水	9：00～12：00	外来実習	産婦人科外来	内海准教授
	13：00～17：00	ふり返り自己学習、カンファレンス	医局	藤田助教
木	9：00～12：00	手術実習	手術室	水谷講師
	13：00～17：00	手術実習	手術室	柴田教授
金	9：00～12：00	手術実習	手術室	水谷講師
	13：00～17：00	手術実習	手術室	柴田教授

講　座　名	眼科学
責　任　者	伊藤逸毅
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	１)外来実習 問診から検査(視力、眼圧、視野など)そして診察と日常行われている外来を実際に体験してもらい眼科診療の基礎を学んでもらいます。ポリクリでは行えなかったような眼底検査なども担当教員が指導します。 ２)手術室実習 教室では網膜硝子体手術を中心に白内障手術､緑内障手術など年間二千例近くの手術を行っている。手術の原理を教員から学びそして理解してもらいその実際を見学し実習後半には顕微鏡下での助手にも挑戦してもらいます。 ３)院外実習(学外実習とは異なる) 眼科には､多くの関連病院があり､それぞれ特色ある診療を行っている。学生の希望により、院外実習として関連病院での実習が可能である。地域医療の実際を学んでもらいます。 (代表的関連病院：日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、名城病院、渥美病院、豊橋医療センター、可児とうのう病院など)

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	カンファレンス　病棟案内	眼科医局	病棟医
	13：00～17：00	振り返り実習	眼科医局	病棟医
火	9：00～12：00	手術実習	OPE 室	OPE 室
	13：00～17：00	外来実習	眼科外来	外来医
水	9：00～12：00	手術実習	OPE 室	OPE 室
	13：00～17：00	外来実習	眼科外来	外来医
木	9：00～12：00	手術実習	OPE 室	OPE 室
	13：00～17：00	外来実習	眼科外来	外来医
金	9：00～12：00	外来実習	眼科外来	外来医
	15：00～17：00	NICU	NICU	医局長

講　座　名	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
責　任　者	加藤久幸
受入可能人数	前半　後半　各５名
実 習 内 容	知ってますか？医師国家試験で鼓膜所見と頸部の診察が重要なポイントであることを。耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の選択制臨床実習はそれができるところです。 実習期間中は、クリニカル・クラークシップの精神にのっとり、担当医師とともに実際に行動し医療行為へ積極的に参加することを通して、プライマリーケアや一般診療に関する基本的な知識、技能および医師としての態度の習得を目指します。これらの経験は翌年、研修医として初めて医療現場に出たすぐその日から、大きく役に立つでしょう。実際、以前、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学選択制臨床実習を選択し、他病院で研修をしている卒業生から、大変役に立ち感謝しているとメールをもらいました。 研究活動もまた、診療と同様に医師としての重要な務めです。現在我々の教室で行っている研究にも参加すると同時に、国際および全国規模の学術集会へも随行し、現在最先端の研究がどのように行われているかを体感してもらいます。 到達目標は以下のとおりです。 1. 視診、触診、聴診などの基本的診察を自らが行うことができること(特に鼓膜所見、頸部の診察)。 2. 担当医の指導のもとに手術の皮膚切開、縫合、採血(動脈血、静脈血)、点滴など基本的医療処置ができ、さらに手術での第１～３助手を務めることができること。 3. 担当患者の病状、治療方針の概要を説明できること。 4. コンピューターを使った医療情報の検索、利用、管理が的確にできること。 **【その他】** 今までの選択制臨床実習では、学生さんが入院患者さんから親しみをもって「先生」と呼ばれ、とても信頼されていました。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	病棟見学	病棟	田邉陽介
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
火	9：00～12：00	外来見学	外来	加藤久幸
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
水	9：00～12：00	手術見学	手術室	岩田義弘
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
木	9：00～12：00	外来見学	外来	山原康平
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		
金	9：00～12：00	手術見学	手術室	九鬼伴樹
	13：00～17：00	ふり返り自己学習		

講　座　名	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学(第二教育病院)
責　任　者	岡野高之
受入可能人数	前半　後半　各１名ずつ
実 習 内 容	第１週目：耳鼻咽喉科の基本的診察手技の習得 1)問診：耳鼻咽喉科特有の事項についての問診、アナムネの取り方を学ぶ 2)視診、触診：耳鏡、鼻鏡、舌圧子、間接喉頭鏡、硬性内視鏡、フレキシブルファイバースコープ等を用いた視診の手技を学ぶ。また、頭頸部外科領域腫瘤、感染症局所等の触診について学ぶ。 3)手術見学：耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の手術を見学する。手洗い、簡単な手術助手も含む。 4)睡眠時呼吸障害の患者に対し、PSG(終夜脳波)、薬物睡眠下内視鏡検査等の実際につき指導医とともに学ぶ。 第２～６週目：手術症例を中心に、指導主治医とともに患者を担当し、術前、実際の手術時、術後における医師としてすべき事柄について学ぶ。実際の手術への参入も含む。 また、外来担当医の助手として、外来患者についても実際に診察、診断し、外来担当医と症例につき討議する。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	外科診療の見学	耳鼻科外来	木村助教
	13：00～17：00	病棟廻診	6 階病棟	倉田助教、鹿野助教
火	9：00～12：00	外科診療の見学	耳鼻科外来	岡野教授
	13：00～17：00	病棟廻診	6 階病棟	西幹助教
水	9：00～12：00	手術見学	手術室	木村助教
	13：00～18：00	手術見学、カンファレンス	手術室、医局	倉田助教
木	9：00～12：00	外来診療	耳鼻科外来	倉田助教
	13：00～17：00	病棟廻診	6 階病棟、医局	金子助教、西幹助教
金	9：00～12：00	手術見学	手術室	鹿野助教
	13：00～18：00	手術見学、カンファレンス	手術室、医局	鹿野助教

講　座　名	麻酔・集中治療医学
責　任　者	中村智之
受入可能人数	前半　後半　各９名
実 習 内 容	麻酔科学とは侵襲制御の学問であり、麻酔行為自体も、血管確保、気道確保から始まり、体液・輸液管理、患者の状態に合わせた呼吸・循環管理などの高度な全身管理に至るまで、ライフサポートのエッセンスに満ちています。麻酔科をじっくりと研修することは、将来医師として働いていく上で最低限必要な全身管理の基本的考え方を学ぶことのできる、この上ない良い機会となるでしょう。 選択制臨床実習では、指導医と行動を共にし、侵襲制御医学の基本から学び、全身管理における基本的な物の考え方と危機管理の姿勢を学びます。コースは、学生の希望に応じアレンジします。重症患者の全身管理を主体に学びたい場合は、ICU での実習を主体に行い、術中全身管理(麻酔)も含めて学びたい場合は、手術室での実習も含めて行います。輸液、電解質、酸塩基平衡、栄養管理、凝固・線溶、人工呼吸管理、敗血症の病態、急性血液浄化、循環管理の基本などを、実習以外と講義を交えて立体的に学べます。第一教育病院では、市中病院では経験できないような重症患者の全身管理、急性血液浄化法や V-VECMO などの最先端医療を学ぶことができます。 第四教育病院（岡崎医療センター）では市中病院で経験する一般的な患者の全身管理を学ぶことができます。 **※積極的に実習に参加する意欲のある学生を歓迎します。** **なお、実習時間中は自習時間を設けません。** 【医局からのメッセージ】 当医局の理念は、“教育こそすべて-Edcation is Everything-”。 教育を通して“育った芽が何本もの幹となる”ように良き理解者を増やすことと、将来何人もの患者さんの御役に立てるようになると信じて毎日頑張っています。情熱にあふれた若い医局員の多い明るい医局です。一度経験してみませんか？

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	ICU において重症患者管理を学ぶ	ICU	小松講師
	13：00～17：00	振り返り　自己学習		
火	9：00～12：00	全身麻酔を通じで全身管理を学ぶ	ICU	原准教授
	13：00～17：00	振り返り　自己学習		
水	9：00～12：00	ICU において重症患者管理を学ぶ	ICU	中村教授
	13：00～17：00	振り返り　自己学習		
木	9：00～12：00	ICU において重症患者管理を学ぶ	ICU	小松講師
	13：00～17：00	振り返り　自己学習		
金	9：00～12：00	全身麻酔を通じで全身管理を学ぶ	ICU	原准教授
	13：00～17：00	振り返り　自己学習		

講　座　名	麻酔・疼痛制御学
責　任　者	藤原祥裕
受入可能人数	前半　後半　各１名
実 習 内 容	周術期管理 ばんたね病院麻酔科スタッフとともに行動し、周術期管理 （術前評価、術中、術後管理）を体験する。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	8:15-12:00	周術期管理	ばんたね病院麻酔科医局	藤原祥裕教授
	13:00-16:15	周術期管理	当日指示	藤原祥裕教授
火	8:15-12:00	周術期管理	ばんたね病院麻酔科医局	藤原祥裕教授
	13:00-16:15	周術期管理	当日指示	藤原祥裕教授
水	8:15-12:00	周術期管理	ばんたね病院麻酔科医局	藤原祥裕教授
	13:00-16:15	周術期管理	当日指示	藤原祥裕教授
木	8:15-12:00	周術期管理	ばんたね病院麻酔科医局	藤原祥裕教授
	13:00-16:15	周術期管理	当日指示	藤原祥裕教授
金	8:15-12:00	周術期管理	ばんたね病院麻酔科医局	藤原祥裕教授
	13:00-16:15	ふりかえり自己学習	当日指示	藤原祥裕教授

講　座　名	病理診断学
責　任　者	南口早智子
受入可能人数	前半　後半　各２名
実 習 内 容	病理専門医の指導の下に、 1）興味のある臓器、疾患について集中的に学習し、組織診、細胞診を経験する。 2）病理解剖に参加し、最終診断までの一連の流れ(肉眼診断、切り出し、特殊染色、免疫染色の意義、診断書作成)について経験、学習する。 3）臨床各科とのカンファレンス、CPC、キャンサーボードに参加する。

週間スケジュール

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	病理診断についての講義・切り出し見学	病理診断室(外来棟４階)	南口
	13：00～17：00	病理診断		中川
火	9：00～12：00	切り出し見学・参加	病理診断室(外来棟４階)	酒井
	13：00～17：00	病理診断		酒井
水	9：00～12：00	切り出し見学・参加	病理診断室(外来棟４階)	小林
	13：00～17：00	病理診断		小林
木	9：00～12：00	切り出し見学・参加	病理診断室(外来棟４階)	酒井
	13：00～17：00	病理診断		酒井
金	9：00～12：00	切り出し見学・参加	病理診断室(外来棟４階)	近藤・住吉・磯村
	13：00～17：00	病理診断		南口

講　座　名	七栗記念病院 （リハビリテーション医学、外科・緩和医療学）
責　任　者	大高洋平(リハビリ・全体統括)、臼井正信(外科・緩和医療学)
受入可能人数	リハビリ:前半　後半　各３名まで、外科・緩和医療学:前半　後半　各３名まで
実習内容	◆リハビリテーション医学 リハビリ科の主治医とともに臨床に参画し、高齢者医療で必須となる障害者の診かた、リハビリ治療・処方のエッセンスを身につけます。 ・治療計画、処方、入院医療管理を上級医と一緒に行います。 ・評価(歩行､ADL､嚥下､筋電図など)を体得してもらいます。 ・脳卒中や脊髄損傷などに関して多面的に学びます。 １週間のポリクリでは感じにくかった患者の状態の変化やリハビリ医の必要性がわかるようになります。 ◆外科・緩和医療学 緩和ケア病棟および一般外科病棟での医療に参加します。 ・緩和ケア病棟で医療チームの一員として疼痛管理や心のケアなどの臨床を体験します。 ・Nutrition Support team(NST：栄養サポートチーム)の一員としてミーティングやラウンドに参加していただきます。 ・現在、我が国で最も求められている医療のひとつである“がん治療における代謝学的アプローチ”についても修得いただけます。 ◆七栗記念病院(ミックス) 上記の２科を混ぜて七栗で学習できるコースです。 ・希望者の要望に合わせてコーディネートします。

週間スケジュール

◆リハビリテーション医学Ⅱ

曜日	時間	内容	集合	担当	備考
月	9：00～10：00	オリエンテーション	リハビリ科医局	福島助教	2 週目以降はその週の学習目標設定
	10：00～12：00	病棟実習	所属病棟	病棟担当医	2/3/5 階いずれかの所属とする
	13：00～14：00	ふり返り自己学習			
	14：00～16：00	嚥下造影検査 ／膀胱造影見学	本館 1F 透視室	病棟担当医	
	16：00～17：00	ふり返り自己学習			
火	9：00～10：30	病棟実習	所属病棟	病棟担当医	
	10：30～12：30	ふり返り自己学習			
	13：30～16：00	病棟回診	回診実施病棟	平野教授	2/3/4/5 病棟いずれかで回診が行われる。
	16：00～17：00	装具診察見学	2 階病棟	木曽助教	
水	9：00～10：30	新患回診見学	2 階病棟	平野教授	
	10：30～12：00	病棟実習	所属病棟	病棟担当医	
	13：00～15：00	ふり返り自己学習			
	15：00～16：00	嚥下造影検査 ／膀胱造影見学	本館 1F 透視室	病棟担当医	
	16：00～17：00	新患回診見学	2 階病棟	平野教授	
木	9：00～10：30	病棟実習	所属病棟	病棟担当医	
	10：30～12：30	新患入院時診察見学	所属病棟	病棟担当医	
	13：30～15：00	ふり返り自己学習			
	15：30～17：00	褥瘡回診	1 階病棟	角田講師／福島助教	
金	9：00～11：00	病棟実習	所属病棟	病棟担当医	
	11：00～12：00	褥瘡ミーティング ／ふり返り自己学習	実習室②	福島助教	偶数週は褥瘡ミーティング
	13：00～15：00	ふり返り自己学習			
	15：00～16：00	嚥下造影検査見学 ／筋電図実習	本館 1F 透視室	水野講師	
	16：00～17：00	まとめ	リハビリ科医局	大高教授／平野教授	

◆外科・緩和医療学

曜日	時間	内容	集合	担当
月	9：00～12：00	病棟実習（緩和ケア病棟回診）	緩和ケア病棟	村井教授
	13：00～15：00	病棟実習（一般病棟回診）	4 階病棟	伊藤教授
	15：00～17：00	ふり返り自己学習		
火	9：00～12：00	外来実習（緩和ケア外来、入院相談）	緩和ケア・外科外来	臼井/村井教授
	13：00～14：00	緩和ケア病棟　NST 回診	緩和ケア病棟	村井教授
	14：00～17：00	ふり返り自己学習		
水	9：00～12：00	病棟実習（緩和ケア病棟回診）	緩和ケア病棟	伊藤教授
	13：00～14：00	NST Meeting	第 2 実習室	都築助教
	14：00～15：00	ドームでの実習（お茶会参加など）	緩和ケア病棟	伊藤教授
	15：00～16：00	ふり返り自己学習		
	16：00～17：00	入退棟判定会議	第 2 実習室	医局員
木	9：00～12：00	外来実習（緩和ケア外来、入院相談）	緩和ケア・外科外来	伊藤教授
	13：00～14：00	ふり返り自己学習		
	14：00～15：30	一般病棟　NST 回診	4 階病棟	伊藤教授
	15：30～17：00	褥瘡回診	緩和ケア病棟	褥瘡委員
金	9：00～12：00	PICC、CART　など	透視室	都築助教
	13：00～16：00	緩和ケア病棟・一般病棟　回診	緩和ケア→4 階病棟	医局員
	16：00～17：00	第 3 週　キャンサーボード	Web	医局員
		以外の週　ふり返り自己学習		

2027 年度 選択制臨床実習 学外(国内)実習施設一覧

〇施設の概要については、インターネットを利用し、ホームページ等で確認できます。
〇宿舎や駐車場の利用については、確約できるものではありません。
〇宿泊が必要な場合は、各自で宿泊場所を探す必要があり、費用も自費です。
〇自宅や下宿から通う場合は、駐車場などの問題が解決されていれば、公共交通機関を利用せずに実習を行ってもよい。
〇公共交通機関を利用する際は、必ずマスクを着用し、感染予防に努めること。
〇実習施設より PCR 検査等の指示があった場合は、学務課に相談すること。

No.	施　設　名	所在地等
1	**愛知県精神医療センター：**精神科	名古屋市千種区徳川山町 4-1-7 定員：1 名 期間：4 週間（前半 1 名、後半 1 名） 駐車場利用：可、宿舎：無 愛知県の公立単科精神科病院です。救急、急性期、児童思春期、医療観察法等、様々な機能の病棟を有しております。一般精神科外来に加え、児童思春期外来を有し、さらに、児童思春期専門のデイケアを含めた 3 つのデイケア、ACT（包括型地域生活支援プログラム）、訪問看護等にて地域支援を行っています。また、修正型、ECT、クロザピン、SST、成人発達障害プログラム等の専門的な治療も実施しております。

2	**一宮西病院：**麻酔科	一宮市開明字平 1 番地 定員：1 名 期間：4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：可、宿舎：無 一宮市の西部に位置し、地域の二次救急病院として 365 日、24 時間、患者受け入れを行っている病院です。心臓血管外科を含めた手術麻酔、全科対応の Closed ICU を担っており、現代の麻酔科医としてのすべてを経験できます。
3	**一般社団法人神奈川県警友会 けいゆう病院：**一般・消化器外科	神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-7-3 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：不可、宿舎：無 横浜みなとみらいにある病床数 410 床の総合病院です。手術、内視鏡、乳腺外科外来、血管外科外来、術前カンファ、縫合実習などに参加していただきます。

4	**医療法人 英** **はなぶさ在宅診療所：**内科(訪問診療)	名古屋市千種区南明町 3 丁目 60-6 定員：1 名 期間：4 週間のみ(前半後半問わない) 駐車場利用：可、宿舎：無 当院は質の高い在宅診療を提供することを理念に患者様に向き合い「在宅だから仕方ない」という妥協を一切排した在宅診療所です。 全往診車に心電図・超音波・血液ガス分析器・救急蘇生セットを搭載し、急性疾患にも即座に対応できる体制を整えています。 輸血・医療麻薬の持続点滴・CV カテーテル留置・気管カニューレ交換など、通常は病院でしか行えない処置も、責任ある準備のもとで在宅にて実施しています。診療は根拠に基づき、カルテ内と同等の詳細な診療レポートをチーム全員に毎回共有。医師一人あたりの担当患者数を少なめに抑え、時間をかけた丁寧な診察を徹底しています。費用対効果より患者の利益を優先する――その一点において、あらゆる判断がなされている診療所です。
5	**鵜飼リハビリテーション病院：** リハビリテーション科	名古屋市中村区太閤通 4-1 定員：1 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：無 150 床の回復期リハビリテーション専門の病院で、総合的なリハビリを行っています。系列には地域包括ケア病棟、療養病棟、外来、訪問診療、通所リハ、デイサービスもあり、地域に根差した診療を行っています。

6	**宇野病院：**リハビリテーション科	岡崎市中岡崎町 1-10 定員：2 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：無 西三河南部東医療圏の二次救急医療を担い、内科・外科・消化器科・糖尿病内科・整形外科・リハビリ科など専門性の高い外来や、急性期から回復期・慢性期までの幅広い患者に対応した入院医療を提供しています。特にリハビリの分野では、PT･OT･ST・を約 80 名配置し、2 つの回復リハビリ病棟を運営するなど、充実したリハビリを提供できる体制を整えています。また、グループ内には、健診施設や介護保険施設（老健 2 施設、特養 1 施設）とケアプランセンター、訪問看護、訪問介護、地域包括支援センターなどを持っており、医療と介護の充実したサービスネットワークを形成しています。
7	**岡崎市民病院：**腎臓内科	岡崎市高隆寺町五所合 3-1 定員：期間中 1 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：有 当院は救命を中心に全科 active に診療が行われている。高度急性期医療を目指しており、腎臓内科も様々な疾患に対応している。 実習日に熱がないことは、毎日確認してください。

8	**桶狭間病院** **藤田こころケアセンター：**精神科	豊明市栄町南舘 3-879 定員：2 名 駐車場利用：可、宿舎：無 急性期を中心とした精神科専門病院での実習が可能。多くの常勤医は理事長以下本学出身の指導医が多数おり指導体制は厚い。急性精神病や各依存症、重度認知症など大学病院では経験できない専門病院での医療が経験できる。
9	**春日井市民病院：**循環器内科	春日井市鷹来町１丁目１−１ 定員：1 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：有 地域の急性期中核病院として、24 時間体制で循環器救急に対応しています。各種循環器疾患のベッドサイド診療への参加に加え、心臓リハビリテーションや症例カンファレンスなど充実した実習を提供できます。

10	**刈谷豊田総合病院：**小児科	刈谷市住吉町 5-15 定員：2 名 駐車場利用：不可、宿舎：有（条件あり） 小児科は、西三河地区の小児科中核病院として、周辺地区の一次から三次救急まで幅広く対応しています。大学病院とは異なった小児診療、中でも小児在宅診療などについても学ぶことができます。 実習前に実習生のワクチン接種証明の提出をお願いいたします。 1. B 型肝炎 2. 麻疹 3. 風疹 4. 水痘 5. 流行性耳下腺炎（ムンプス） 任意項目：新型コロナワクチン（接種回数は問いません。） 実習の 5 日前より体調確認票（当院指定様式） を記録いただきます。 ご協力お願い致します。
11	**刈谷豊田総合病院：**皮膚科	刈谷市住吉町 5 丁目 15 番地 定員：1 名 駐車場利用：不可、宿舎：無 急性期医療を担う高機能な病院です。

12	**刈谷豊田総合病院：** リハビリテーション科	刈谷市住吉町 5－15 定員：1 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：不可、宿舎：有（条件あり） 刈谷市にある急性期総合病院（704 床）の中に回復期リハビリテーション病棟（42 床）を有する地域医療支援病院です。リハビリテーション科では充実した専門医療で、急性期から回復期、生活期まで幅広い分野の地域リハビリテーションを実施しています。 ＩＣＵから始まる急性期リハビリテーション、回復期リハビリテーション病棟でのチーム医療、高齢者の摂食嚥下障害について総合的に学ぶことができます。 【実習にあたってのお願い】 ①実習前に実習生のワクチン接種の接種証明の提出をお願いいたします。（必須項目：Ｂ型肝炎､麻疹､風疹､水痘､流行性耳下腺炎（ムンプス）､インフルエンザ(実習期間が 12 月～3 月の場合のみ)、 任意項目：新型コロナワクチン（接種回数は問いません） ②実習の 3 日前より体調確認票(当院指定様式)を記録いただきます。ご協力お願いいたします。 （コロナ 5 類移行後も継続）

13	**関西電力病院：** 糖尿病・内分泌代謝センター	大阪府大阪市福島区福島 2 丁目 1 － 7 定員：各期間 1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：不可、宿舎：無 内科系が充実した総合病院で、急性期・慢性期を問わず多数の症例を経験できる。 本実習では主に糖尿病を中心に症例を担当し、チーム医療の一員として活動していただく。
14	**輝山会記念病院：** 総合リハビリテーションセンター	長野県飯田市毛賀 1707 番地 定員：1～2 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：有 流行性ウイルス疾患の免疫を持っていること。 胸部エックス線などで感染症の結核ではないことを証明できること。 その他、大学が許可する健康状態であること。 総合リハセンターでは、急性期から回復期・維持期までのリハ医療の充実をはかっています。回復期リハ病棟では、100 床を有し県下最大規模であります。医療、介護、在宅における全ての分野にリハスタッフを配置し、あらゆる角度から患者さまの社会復帰のサポートを行っています。当院では、大学病院ではみることのできない地域医療の勉強をすることができます。

15	**公益財団法人** **豊田地域医療センター：** リハビリテーション科	豊田市西山町 3 丁目 30 番地 1 定員：前半 1 名、後半 1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可、宿舎：無 IT・ロボット技術など先進のリハビリテーションを急性期から回復期・生活期に取り入れたシームレスリハビリテーションを展開している。また、豊田市の高齢者や介護を必要とする人の社会参加を最新の支援工学を活用して支援する事業を展開している。その中心的役割を担うのが 2021 年 11 月にオープンした地域リハイノベーションセンターであり、医療・介護・福祉分野でリハビリテーション技術を地域に展開していく様子を是非体験していただきたい。 ・流行性ウイルス疾患の免疫を持っていること ・胸部エックス線などで、感染性の結核ではないことを証明できること ・新型コロナ対策については、当院の ICT 委員会の基準に沿って対応する

		豊田市西山町 3 丁目 30 番地 1 定員：1～2 名 期間：後半 4 週間 駐車場利用：可、宿舎：有 医学部 6 年生向け 総合診療科･家庭医実習プログラム（4 週間） 本実習では、訪問診療における総合診療科の役割と実践を、臨床現場の経験を通して体得することを目的とします。未分化な健康問題、予防医学と健康増進、慢性疾患のケア、多疾患併存、患者中心の医療、チーム医療の実践などに関わることで、家庭医としての基礎的臨床能力とプロフェッショナリズムを養います。
16	**公益財団法人** **豊田地域医療センター：** 連携地域医療学	〈主な活動内容〉 1.訪問診療への同行・在宅患者の診療 指導医とともに患者宅を訪問し、診察、情報収集、診療録作成、家族対応などの実務に携わります。住環境や家族関係、生活導線を含めた患者の生活状況を観察・評価し、医療ニーズとの関連性を考察することで、生活に根ざした医療の視点を養います。 2.慢性疾患患者の在宅モニタリングと生活指導の実践 急性期病院では携わりにくい、安定した糖尿病、高血圧、心不全、COPD などの慢性疾患を有する在宅患者の服薬状況、食事、運動、ADL などを継続的に観察します。生活習慣改善に向けた助言や教育的介入を通じて、家庭医としての包括的な病態管理能力を養います。

	公益財団法人 **豊田地域医療センター：** 連携地域医療学	3.プレゼンテーションとフィードバック 　受け持ち患者について症例提示を行い、指導医やチームからのフィードバックを受けます。在宅医療における臨床推論能力や、患者中心の視点を磨く機会となります。 4.ACP（人生会議）や家族会議の見学 　患者の価値観を尊重した治療方針の共有・決定プロセスを、指導医の支援のもとで体験します。倫理的判断力やコミュニケーション能力を高める機会となります。 5.在宅看取り事例の振り返りと学び 　在宅での看取りを経験した症例について、医療的対応、家族支援、倫理的課題を多職種で振り返り、人生の最終段階におけるケアを学びます。
17	**公益財団法人** **豊田地域医療センター：**外科	豊田市西山町 3 丁目 30 番地 1 定員： 1 名 期間：前半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：無 地域医療を学べる。
18	**江南厚生病院：**小児科	江南市高屋町大松原 137 定員：2 名 期間：4 週間のみ受入可能 駐車場利用：可、宿舎：有 尾張北部の小児医療を担っている病院で、一般小児科を中心に、予防接種、新生児医療などに力を入れています。非常に多くの多彩な症例を経験できます。また、本学卒業生が初期研修、後期研修医として活躍しています。

19	**公立西知多総合病院：**消化器内科	東海市中ノ池三丁目 1 番地の 1 定員：１名 期間：4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：可、宿舎：無 知多半島北西部地域のおける中核病院です。
20	**公立西知多総合病院：**腎臓内科	東海市中ノ池三丁目 1 番地の 1 定員：各期間 2 名まで 駐車場利用：可、宿舎：無 流行性ウイルス疾患の免疫を持っていることが望ましい。 東海市の南部、知多半島北西部の医療圏の中核病院として 2015 年 5 月に新規に設置されました。同地域の慢性腎臓病のほか、腎炎、その他の腎疾患に関連した複雑な病態の症例も多く診療しています。腎生検、内シャント設置術、腹膜透析カテーテル挿入手術なども積極的に行っております。

21	**公立西知多総合病院：** 麻酔・集中治療・ペインクリニック科	東海市中ノ池三丁目１番地の１ 定員：１名 駐車場利用：可、宿舎：有（当直室） 知多半島北西部地域の中核病院として、心臓血管外科以外の手術麻酔を幅広く経験できます。術後鎮痛にも力を入れており、硬膜外麻酔、神経ブロックを積極的に行い、iv-PCA も導入しています。６床の ClosedICU を運営しており、大侵襲術後患者だけでなく救急外来や病棟からの重症患者を受け入れており、幅広い疾患を経験することができます。ICU での全身管理を学ぶことができ、集中治療科専門医の取得も可能です。ペインクリニック外来におけるペインクリニック、緩和ケア病棟におけるブロック、救急診療センターにおける救急診療、ドクターカーによる病院前救急も学ぶことができます。
22	**公立西知多総合病院：**泌尿器科	東海市中ノ池三丁目１番地の１ 定員：１名 期間：４週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可、宿舎：無 地域の総合病院です。 一般泌尿器科として、内科的治療、化学療法、 経尿道的手術、腹腔鏡手術、ダビンチ手術、救急疾患、緩和治療まで幅広く実習が可能です。

23	**公立西知多総合病院：**脳神経外科	東海市中ノ池三丁目 1 番地の 1 定員：1 名 駐車場利用：可、宿舎：無 知多市から東海市にかけての知多半島医療圏の北西部地域における中核病院であり、脳卒中、頭部外傷等、脳神経外科救急疾患を中心に診療を行っています。
24	**国立がん研究センター東病院：** 腫瘍内科	千葉県柏市柏の葉 6-5-1 定員：若干名 駐車場利用：不可、宿舎：無 最新かつ最善の医療の提供、がんの病態解明と治療開発に向けた先端的な研究、根拠に基づくがん医療の実践を通じた医療者を養成しています。腫瘍内科は臓器横断的な内科的治療を行う科として診療および研究、教育を行っています。
25	**国立長寿医療研究センター：** リハビリテーション科・部	大府市森岡町 7-430 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可、宿舎：無 日本をリードする高齢者医療の提供・研究を目的として設立された National Center です。リハビリテーション科は 50 床の病棟を持ち、急性期・回復期・生活期の多くの病態と高齢者の生活を体験できます。ロボットリハビリテーション、認知症や先端的リハビリテーションなど、今後の日本を支えるリハビリテーション医療を知ることができます。

26	**国立長寿医療研究センター：** 循環器内科	大府市森岡町 7-430 定員：2 名 期間：4 週間のみ(前半後半問わない) 駐車場利用：可、宿舎：無 大学施設とは異なり、規模は小さいのですが、高齢循環器診療を中心に、しっかりとした教育体制と心臓リハビリテーションを含むチーム医療の中で学生個人のニーズに合わせた充実した実習環境を提供できると確信しています。
27	**静岡赤十字病院：**泌尿器科	静岡県静岡市葵区追手町 8-2 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：不可、宿舎：有（応相談） 静岡市中心部の 465 床の総合病院で、地域医療（救命救急センター）から高度先端医療まで提供します。
28	**市立四日市病院**：外科	三重県四日市市芝田二丁目 2-37 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：原則不可、宿舎：有 地方の中核病院として、多数の症例を誇っている。

29	**清慈会 鈴木病院：**産婦人科	豊田市月見町 1-10-8 定員：前半・後半 1 名ずつ 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可、宿舎：無 当病院は、年間約 2,000 例の分娩数を行っている豊田市に根付いた病院です。院長の「充実した医療と心のこもった看護」という理念に基づき安全なお産を目指しています。最近は「無痛分娩」も積極的に行い、より苦痛の少ないお産を目指し日々工夫しています。もう一本の柱として腹腔鏡下手術にも力を入れており、悪性を除く全ての良性婦人科疾患を扱っています。大学病院とは異なる、地域の産婦人科医の忙しい日常が見える病院です。 受入条件：やる気があること。患者さんのプライバシーに配慮できること。
30	**社会医療法人 大雄会** **総合大雄会病院：**呼吸器内科	一宮市桜一丁目 9 番 9 号 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可、宿舎：無 総合大雄会病院 322 床、大雄会第一病院 132 床を中心とする急性期総合病院である。現在、研修医複数名を擁し、屋根瓦方式のクリニカルクラークシップを実践しており、学生と医師との距離が近いという特徴を有している。

31	**社会福祉法人政令聖隷福祉事業団** **総合病院　聖隷浜松病院：** 膠原病リウマチ内科	静岡県浜松市中区住吉 2-12-12 定員：1 名 期間：4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：可*、宿舎：有 ＊第 2 駐車場利用。できるだけ公共交通機関を利用してください。

32	**総合病院　南生協病院**：総合診療科	名古屋市緑区南大高二丁目 204 番地 定員：１名 期間：後半４週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：無 緑区 JR 南大高駅前に 2010 年に新築移転。２次救急病院として、地域の皆さんがもしもの時に気軽に受診できる外来機能（第一次と）、必要時に入院できる救急医療（第二次）で地域に貢献しています。南生協病院では、住民参加型の医師研修を取り入れ、病を持った人だけでなく、健康な人々とのつながりも大切にし、地域や家庭、患者さんの生活にも目を向けられる医師研修を目指しています。ヒューマニズムを持った総合力のある医師を、地域の人々と協同で育てる環境があります。 **臨床実習施設シラバス**　2026年5月1日現在 施設名　総合病院 南生協病院　住所：　名古屋市緑区南大高二丁目204番地 関連施設名　南医療生活協同組合事業所 電話＆Fax：TEL 052-625-0373　FAX 052-625-0534　HP：　https://www.minami-hp.jp 担当者/担当指導医：　実習担当医師：豊岡達志医師、長田芳幸医師 事務担当：太田 連絡先：　医局事務局　太田　ikyoku-jimukyoku2@minami.or.jp アクセス　JR東海道線　南大高駅　徒歩3分   スケジュール例 1週目 / 月 / 火 / 水 / 木 / 金 午前 / オリエンテーション他 / 病棟 / 病棟 / 病棟 / 病棟 午後 / 病棟 / 嚥下内視鏡検査 / カンファレンス / 地域の会議参加 Wifi環境に関して：　あり 昼食に関して：　各自で準備。飲食できるスペースはあります。 初日集合時間と場所：　8:30　病院1階エントランス集合 その他注意事項：　公共交通機関でお越しください。 車の場合は、患者様用立体駐車場３階以上に駐車ください。 持ち物：　実習着・院内靴・名札・昼食 学生へのメッセージ：　地域ネットワークがあり、見える医療・介護現場は当法人しかないと考えます。患者様のニーズに耳を傾けることができ、かつ、くらしに目を向けられるような医師になることを目指したい方はぜひ、当法人へ実習にお越しください。

33	**大同病院：**腎臓内科	名古屋市南区白水町 9 番地 定員：1 名 駐車場利用：可、宿舎：無 食堂利用：可(無料) 担当としてベッドサイドでの実習を重視しています。最終日には担当症例の中から一症例を選んで、症例のまとめのプレゼンテーションをしていただきます。臨床実習を熱心に行いたい学生におすすめです。
34	**大同病院：**耳鼻咽喉科	名古屋市南区白水町 9 番地 定員：1 名 駐車場利用：可、宿舎：無 当院は 1939 年に設立され、70 年以上にわたり地域医療への貢献を第一として運営しており、「24 時間、365 日」断らない医療を目指しています。診断から治療まで総合的に実習していただけます。 実習初日に「医療情報システム利用申請書（職種：医学生)」の提出をお願いします。 抗体価やワクチン接種記録、胸部エックス線検査の実施状況の報告書類（直近の定期健康診断結果のコピー等）等の報告をお願いしています。これにより実習の受け入れを制限するものではありません。

35	**大同病院：**病理診断科	名古屋市南区白水町 9 番地 定員：1 名 期間：4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：可、宿舎：無 404 床を有する市中病院で、Common な疾患の生検、手術検体の病理診断を経験できます。どんどん標本を見てもらうスタイルの実習になります。 実習初日に「医療情報システム利用申請書（職種：医学生)」の提出をお願いします。 抗体価やワクチン接種記録、胸部エックス線検査の実施状況の報告書類（直近の定期健康診断結果のコピー等）等の報告をお願いしています。これにより実習の受け入れを制限するものではありません。
36	**社会医療法人宏潤会** **大同病院：**膠原病・リウマチ内科	名古屋市南区白水町 9 番地 定員：1 名 期間：4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：可、宿舎：無
37	**知多半島総合医療センター：** 消化器内科	半田市横山町 192 番地 定員：1 名 期間：4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：可、宿舎：無 知多半島で唯一の救命救急センターを核とした高度急性期医療を学べます。 2025 年度 4 月に新規オープンしました。

38	**知多半島総合医療センター：** 脳神経内科	半田市横山町 192 番地 定員：無制限 期間：4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：可、宿舎：有 知多半島唯一の第三次医療機関であり、緊急疾患から慢性疾患まで多岐にわたる神経疾患を診療している。正確な診断、適切な治療を提供することはもちろん、患者・家族と良好な関係をいかに築いていくか、をじっくり考えることも研修目標。
39	**知多半島総合医療センター：** 心臓外科	半田市横山町 192 番地 定員：1 期間 1 名 駐車場利用：可、宿舎：有 知多半島の中核病院で 499 床。三次救急にも対応しており、多数の疾患を経験できる。

40	**知多半島りんくう病院：**腎臓内科	常滑市飛香台 3 丁目 3 番地の 3 定員：1 名 期間：前半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：無 病院は免震構造で、標高 30mの高台にあり、地震や津波などの災害時にも医療を継続できます。病院は、決して大病院ではありませんが、中規模だからこそできる小回りの効いた温かみのある、コミュニケーション日本一の病院を目指しています。 腎臓内科は、腎臓内科一般の診療に加えて、常滑市の唯一の透析施設ということもあり、40～50 名の透析患者さんの診療に当たっています。 発熱などの感冒症状を含む体調不良がある場合や、COVID-19 などの感染症患者との接触歴がある場合には、実習時期の変更をお願いすることがあります。
41	**中部ろうさい病院：** リウマチ・膠原病科	名古屋市港区港明 1-10-6 定員：1 名 期間：4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：不可、宿舎：有* ＊宿舎はあるが、なるべく利用は控えてほしい。
42	**中部ろうさい病院：** 呼吸器内科	名古屋市港区港明 1-10-6 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：不可、宿舎：無

43	**東北大学病院**：呼吸器外科	宮城県仙台市青葉区星陵町 1 番 1 号 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：不可、宿舎：無 高難度の呼吸器外科手術・診療を行っている施設、肺移植のハイボリュームセンター。
44	**独立行政法人国立病院機構** **東尾張病院：**精神科	名古屋市守山区大森北 2 丁目 1301 番地 定員：1名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可、宿舎：無 県内唯一の国立病院機構精神医療機関として、他の設立主体では対応困難な領域に積極的に取り組んでいます。特に、医療観察法に基づく指定入院医療機関であることが特徴で、大学病院では経験できない医療を学ぶことができます。本学出身の指導医は不在ですが、院長は本学精神科での教員歴があります。

45	**豊川市民病院**：小児科	豊川市八幡町野路 23 定員：1 名（4 週間ごとに 1 名） 駐車場利用：可、宿舎：有 東三河の小児医療を担っている病院で、一般小児科を中心に、小児アレルギー、小児腎臓病、予防接種、小児循環器、新生児医療などに特に力を入れています。小児救急も充実していて一次～三次救急まで幅広くたくさんの症例を経験できます。小児科（6名）、眼科（2名）、形成外科（2名）は藤田医科大学の各医局から常勤医師が派遣されています。また初期研修医、後期研修医として卒業生が活躍しています。 2 週間前から体温測定をお願いします。
46	**トヨタ記念病院**：精神科	豊田市平和町 1 丁目 1 番地 定員：1 名 駐車場利用：可、宿舎：有 一般市中総合病院での精神科医療の実習が可能。精神科は本学出身の常勤医 2 名に加えて 3 名の臨床心理士が常勤しており、外来診療に加えて他科とのリエンゾン・コンサルテーション、緩和ケア、救急対応など幅広く経験できる。

47	**トヨタ記念病院：**腎臓内科	豊田市平和町 1 丁目 1 番地 定員：1 名 期間：前半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：有 トヨタ自動車の企業病院として開設されていますが、地域の基幹病院として充実した診療体制が整備されております。初期研修先としても人気があり、優秀な指導医のもと充実した研修を行うことが可能です。腎臓内科の常勤医 3 名と研修医で皆様の指導にあたります。
48	**トヨタ記念病院：**脳神経外科	豊田市平和町 1 丁目 1 番地 定員：1 名 駐車場利用：可、宿舎：有 脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍といった脳神経外科領域の主要疾患をまんべんなく診療し、手術数も豊富です。
49	**豊橋市民病院：**病理診断科	豊橋市青竹町字八間西 50 番地 定員：1～2 名 駐車場利用：可、宿舎：無 大学病院並の症例の豊富さがあり、臨床各科のレベルも高い。部長先生の指導も丁寧である。
50	**名古屋医療センター：**血液内科	名古屋市中区三の丸 4 丁目 1 番 1 号 定員：1 名 原則公共交通機関で 血液内科研究センター併設

51	**名古屋掖済会病院：**泌尿器科	名古屋市中川区松年町 4-66 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可、宿舎：無 名古屋市の南西部の基幹病院として救急医療を中心に地域医療に貢献することを目標にしております。 泌尿器科は地域のクリニックと連携しながら治療に当たり、2020 年よりロボット支援手術を導入するなど、先進医療にも積極的に取り組んでおります。
52	**名古屋記念病院：**循環器内科	名古屋市天白区平針 4-305 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可、宿舎：無 大学施設とは異なり、規模は小さいのですが、しっかりとした教育体制とチーム医療の中で学生個人のニーズに合わせた充実した実習環境を提供できると確信しています。

53	**名古屋記念病院：**小児科	名古屋市天白区平針 4-305 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わないが後半がおすすめ） 駐車場利用：不可、宿舎：無 （宿舎、駐車場はありませんが、どうしても必要な方は院長までご相談ください。） 一般の急性期病院ですが、日本専門医機構の小児科基幹施設にもなっており、小児医療にも力を入れております。当院周辺は広く子どもの多い地域ですが、小児の救急や入院を受け入れている数少ない医療施設です。
54	**名古屋記念病院：**泌尿器科	名古屋市天白区平針 4-305 定員：1 名 期間：4 週間のみ（前半後半問わない） 駐車場利用：可（有料）、宿舎：無 急性期医療を提供する病院として救急医療に積極的に取り組んでおります。また泌尿器科は、ロボット支援前立腺全摘除術や内視鏡手術を中心とした外科的治療だけでなく内販薬による内科的治療、化学療法や放射線治療など診断から治療まで一貫して行うことができます。

55	**日進おりど病院：** 内科、外科、整形外科、循環器内科他	日進市折戸町西田面 110 定員：1 名 駐車場利用：可、宿舎：無 ・一般病床とともに亜急性病床併設 ・予防医学推進研究センター（ドック・検診）併設 ・在宅医療センター（訪問診療等）併設 ・愛知人工関節センター
56	**日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院：** 内科（腫瘍内科に関連する内科を横断的に）	名古屋市中村区道下町 3-35 定員：1 期間 1 名 駐車場利用：不可、宿舎：無 感染症抗体検査（麻疹、風疹、水痘、ムンプス、B 型肝炎）を実施し、陰性及び陽性だが予防接種が必要な場合は予防接種を実施すること。 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院は病床数 852 床の総合病院です。地域がん診療連携拠点病院に指定され、がん診療の中核病院として多くのがん患者さんの診療を行っています。腫瘍内科に関連する内科（化学療法内科、呼吸器内科、血液内科、消化器内科）を中心に緩和ケアチーム回診やがん相談支援など診療領域・職種横断的な実習ができるようスケジュールを作成します。

57	**日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院：**循環器内科	名古屋市昭和区妙見町 2-9 定員：1 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：不可、宿舎：無 当循環器内科では、虚血性心疾患、心不全、不整脈の最先端医療を 24 時間体制で提供しています。高度医療だけでなく、診断の基本、心電図の判読、心エコー、CT、MRI などの画像診断の適応と読み方、治療の基本についても指導を受ける事ができます。 体温チェック等、健康管理をしていただく事、マスク着用で来院いただくこと。 流行性ウイルス疾患の免疫があれば、なおありがたいです。
58	**平塚市民病院：**泌尿器科	神奈川県平塚市南原 1-19-1 定員 2 名 期間 4 週間、8 週間いずれでも可能 駐車場利用：不可、宿舎：有 神奈川県湘南エリアにある病院です。 海、山、街が共存している気候も良いエリアです。中規模の病院ですが、症例の数も種類も多くロボット手術、女性泌尿器科手術も行なっております。スタッフの雰囲気も良く、コメディカルや他科医師との関係も良いので、とても働きやすい環境です。土日は完全自由です。サーフィンデビューしても良し、江ノ島や横浜、東京に出かけるも良し。

59	**碧南市民病院：**総合診療科	碧南市平和町３丁目６ 定員：２名 期間：４週間、８週間いずれでも可能 駐車場利用：可、宿舎：有(利用可能設備は売店、自動販売機、シャワー) 碧南市民病院は、救急・急性期診療から地域包括ケア、退院支援まで幅広く担う地域密着型の病院です。総合診療科では、多様な症状や高齢者の複雑な問題に向き合い、臨床推論や多職種連携を実践的に学べます。
60	**三重大学医学部附属病院：** リウマチ・膠原病センター	三重県津市江戸橋 2 丁目 174 定員：1 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：不可、宿舎：無

61	**もりやま総合心療病院：**精神科	名古屋市守山区町北 11-50 定員：1 名 期間：後半 4 週間のみ 駐車場利用：可、宿舎：無 精神科単科病院での実習が可能です。急性期・慢性期の精神疾患患者をバランスよく診療することが出来ます。また、本病院は認知症疾患医療センターを名古屋市から委託されており、大学病院では困難である重症認知症患者に対する診療が可能です。さらに、名古屋市から委託されている基幹相談支援センターや就労継続支援などの福祉サービスを自院で有しているので、大学では学ぶことが少ない医療と福祉の連携を学ぶ機会も充実しております。当院は理事長をはじめ、藤田医科大学出身の常勤医師が 4 名おり、手厚い指導が可能です。
62	**淀川キリスト教病院**：腫瘍内科	大阪府大阪市東淀川区柴島 1-7-50 定員：1 期間 1 名 駐車場利用：不可、宿舎：無 「全人医療」を実践し、高度であたたかな医療を提供している病院です。腫瘍内科は臓器横断的ながん診療を地域の中核病院で実践しています。

2027 年度　選択制臨床実習　海外実習施設一覧

〇施設の概要については、インターネットを利用し、ホームページ等で確認できます。
〇宿舎の有無については国際交流推進センターにお問合せください。
　問い合わせ先：c-int-rl@fujita-hu.ac.jp
〇過去に渡航した学生のアンケート結果を学務課で閲覧できますが、海外の事情については随時変更になる場合があります。
〇応募時に提出する誓約書の内容をよく確認してから応募してください。

1	**Zhejiang University, China** **（浙江大学）**	MOU締結校 定員：2名 1897年に創立された、浙江省杭州市に位置する中国トップレベルの大学です。臨床医学分野はESI（Essential Science Indicators）世界上位1％に入っており、海外の名門大学との交流や共同研究が盛んに行われています。 世話人教授：生体構造学　髙橋和男教授
2	**Tongji University, China** **（同济大学）**	MOU締結校 定員：2名 同济大学は1907年にドイツ人医師により創設された医学校を起源とし、現在は上海に拠点を置く中国トップクラスの総合大学です。医学部は同年創設の伝統を持ち、豊富な臨床資源のもとで実践的な臨床教育と先端医療研究を推進し、国際的に活躍できる医療人材の育成に寄与しています。 世話人教授：生体構造学　髙橋和男教授

3	**Seoul National University College of Medicine, Korea**	MOU締結校 定員：2名 1946年設立の韓国初の国立総合大学校で、韓国最高峰の国立大学です。世界中の約860の大学、研究機関との学術交流協定を結んでおり、最先端の研究は世界的に高い評価をうけています。 世話人教授：腎泌尿器外科学 佐々木ひと美教授
4	**School of Medicine, Gachon University, Korea**	MOU締結校 定員：2名 1982年開校の新しい私立大学ですが、医学部は韓国国内でトップレベルを誇ります。学内には最新の医療機器が備えられ、先進的な技術を学ぶことができます。 学生宿舎完備。仁川にあり、ソウルへ1時間。 世話人教授：分子細胞生理学　長崎弘教授
5	**National Taiwan University, College of Medicine**	MOU締結校 定員：2名 台湾国内でトップレベル、アジアでも有数の総合大学で、国際活動が活発なことでも知られています。付属の台湾大学病院はJCI認証を取得し、毎年13,000名を超える外国人患者を治療する国際的な病院です。 世話人教授：生体構造学　髙橋和男教授 期間：4週間のみ

6	**China Medical University, Taiwan**	MOU締結校 定員：2名 2006年から12年連続で「教育部(日本でいう文科省)教学卓越大学」に選ばれ、2022年版のQS世界大学ランキングでは世界51-100位、THE世界大学ランキングでは251-300位となっています。 世話人教授：生体構造学　髙橋和男教授
7	**Kaohsiung Medical University, Taiwan**	MOU締結校 定員：2名 1954年に設立され、7学部19学科を擁する台湾で最も歴史のある私立医学大学です。世界141の大学と交流協定を締結し、活発に国際的な活動を行っています。 世話人教授：生体構造学　髙橋和男教授
8	**Faculty of Medicine, Khon Kaen University, Thailand**	MOU締結校 定員：6名 本学医学部が2番目にMOUを提携した大学です。 数多くの学生を派遣したり、本学に受け入れたりしてきました。 コンケン大学では診療参加型実習を実践していますので、皆さんもチームの一員として診療に参加出来ます。 先方のホスピタリティーも良いので、是非、ご参加ください。 世話人教授：臨床総合医学　大槻眞嗣教授

9	**National University of Singapore**	MOU締結校 定員：2名 1905年に設立されたシンガポールで最も歴史がある国立の総合大学でアジアをリードする人材を多数輩出しています。「QS世界大学ランキング2025」では世界8位(アジア最高位)、「THE世界大学ランキング2025」では世界17位(アジア3位)にランキングしています。2023年8月にMOUを締結し、同年10月に本学とNUSを国際海底ケーブルで繋いで遠隔手術実証実験を行いました。 注意事項： 実習開始6か月前までに必要書類を整えて申請する必要があります。配属先決定から申請締め切りまでの期間が短いことが予想されるため、希望者は可能な限り準備を進め、配属決定後に早急に対応すること。また、申込み時に実習希望診療科を選択しますが、例年希望が通らないケースも多くみられ、必ずしも希望診療科で実習を行えるとは限りません。 世話人教授：総合消化器外科学 須田康一教授

10	**Hanoi Medical University, Vietnam**	MOU締結校 定員：未定 ハノイ医科大学は1902年創設のインドシナ医科大学を起源とする、ベトナム最古の医科大学です。首都ハノイに位置し、多くの附属・提携病院を活用した臨床教育を特徴とし、同国の医療人材育成の中核を担う教育・研究拠点である。また、国際連携や学生交流も活発に行われており、臨床能力と研究力を兼ね備えた医療人材の育成に寄与しています。 注意事項： 交換留学に関する契約を今後締結予定であるため、派遣の可否を含め、内容が変更となる可能性がある。希望する学生は、代替の希望先も併せて検討しておくこと。 世話人教授：生体構造学　髙橋和男教授
11	**University of Zambia School of Medicine, Zambia**	MOU締結校 定員：1名 ザンビアで最も規模の大きな大学です。エイズ、マラリア、結核のほかアフリカ特有のウイルス感染症を幅広く学べます。 なお、実習には実費で黄熱、A型肝炎、破傷風、狂犬病、腸チフスなどの予防接種が必要です。マラリア予防薬の内服も必要となります。 世話人教授：小児科学　川田　潤一教授 期間：前半4週間のみ

12	**University of Nebraska Medical Center, United States of America**	MOU締結校 定員：1名 1869年に設立し、150年以上の古い歴史をもつ大学です。アメリカの著名な時事解説誌によるプライマリーケア研修施設ランキングでは最上位階層であるTier1施設に認定されており、トップレベルの研修を受けることが可能です。 TOEFL iBT　79点以上必須。 世話人教授：生体構造学　髙橋和男教授 期間：4週間のみ
13	**Camilo José Cela University, Spain**	MOU締結校 定員：2名 マドリードにある私立大学で、1892年に設立されたSEK Education Groupが母体です。看護学校・公立大学等を運営するほか、2023年には医学部も設立されました。 世話人教授：皮膚科学　杉浦　一充　教授
14	**Università degli Studi di Milano-Bicocca, Italy**	MOU締結校 定員：5名 本学医学部が最初にMOUを提携した大学です。 1998年開校の国立大学でEUのみならず世界各国との大学間学術交流協定を持つ国際的な大学です。多くの教員は国際的な研究グループのメンバーで、国際的かつ実践的な研修を積むことができます。 世話人教授：腎臓内科学　坪井　直毅　教授

15	**University of Bologna, Italy**	MOU締結校 定員：3名 9世紀以上の歴史を誇るヨーロッパ最古の総合大学です。現在まで存続している大学としては世界最古であり、現在もヨーロッパ一の学生数を誇ります。西洋教育の基盤を築いた名門大学で、ガリレオ・ガリレイ、コペルニクスなどの歴史的人物が卒業しました。また、世界で初めて人体解剖学講座が設立された場所としても有名です。 世話人教授：生化学　下野　洋平　教授